

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

2021年度
次期会長・主査研修会ワークブック

2022.7～2023.6

と き 2022年3月12日(土)

ところ 大阪コロナホテル (コロナウイルス感染防止のためハイブリッド開催)

主 催 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

主 管 ワイズリーダーシップ開発委員会

Web掲載用 (必要な場合、個人情報等に関する部分は、ROSTER 等でご確認下さい)



クラブ名

氏 名

次期会長主査研修会 ワークブック追記事項および正誤表

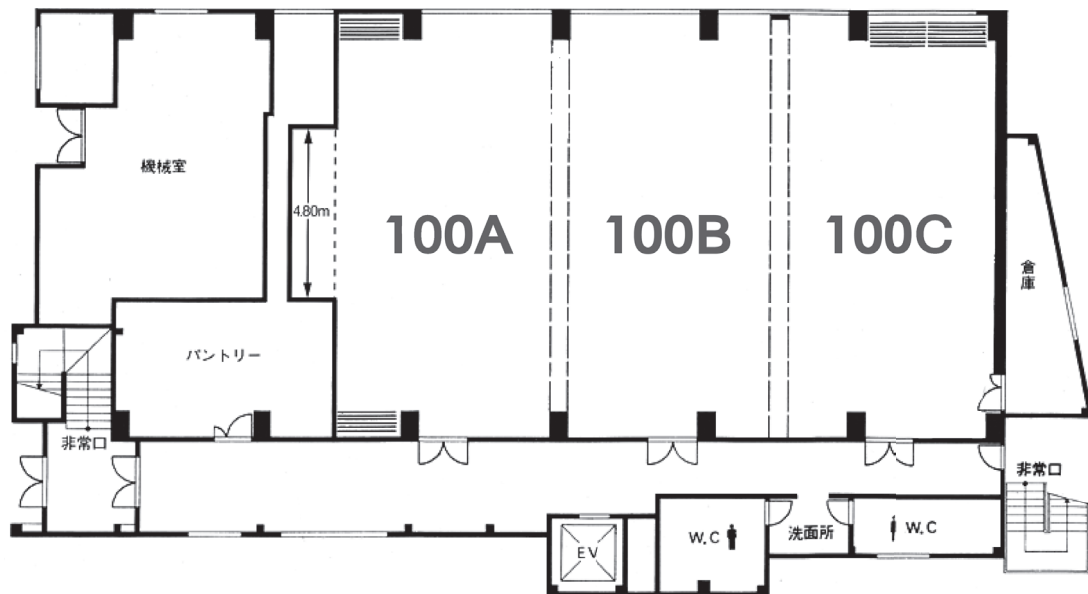
ページ	正	誤
配布 資料①	事前送付ご案内 質問票の送り先	事前送付ご案内 質問票の送り先
1	(L4-3)塚本勝己(京都ウエスト)	(L4-3)塚本勝巳(京都ウエスト)
6	right	light
12	2022-23 アジア太平洋地域会長 Shen Chi Ming	2022-23 アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen
予定表	部会予定 中部部会 9/24	部会予定 中部部会 9/23
19	9 月 塚本勝己(京都ウエスト)	9 月 塚本勝己(京都ウエストル)
20	IYC チェンマイ	IYC 2022 IN HAWAII
42	休日 火・木・土・日・国民の祝日・その他	休日 火・土・日・国民の祝日・その他
65	クラブ会長 姫路 阪田悦規	クラブ会長 姫路 坂田悦規
92	事務局員 前田香代子 メールアドレス	事務局員 前田香代子 メールアドレス

※本文訂正箇所 色帯表示しています。

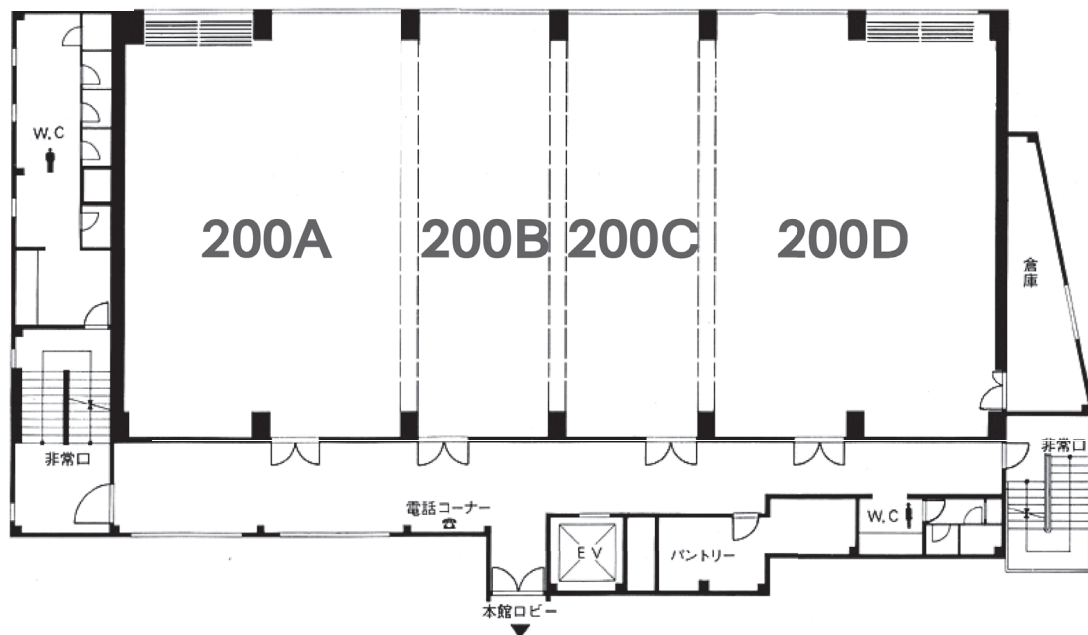
目 次

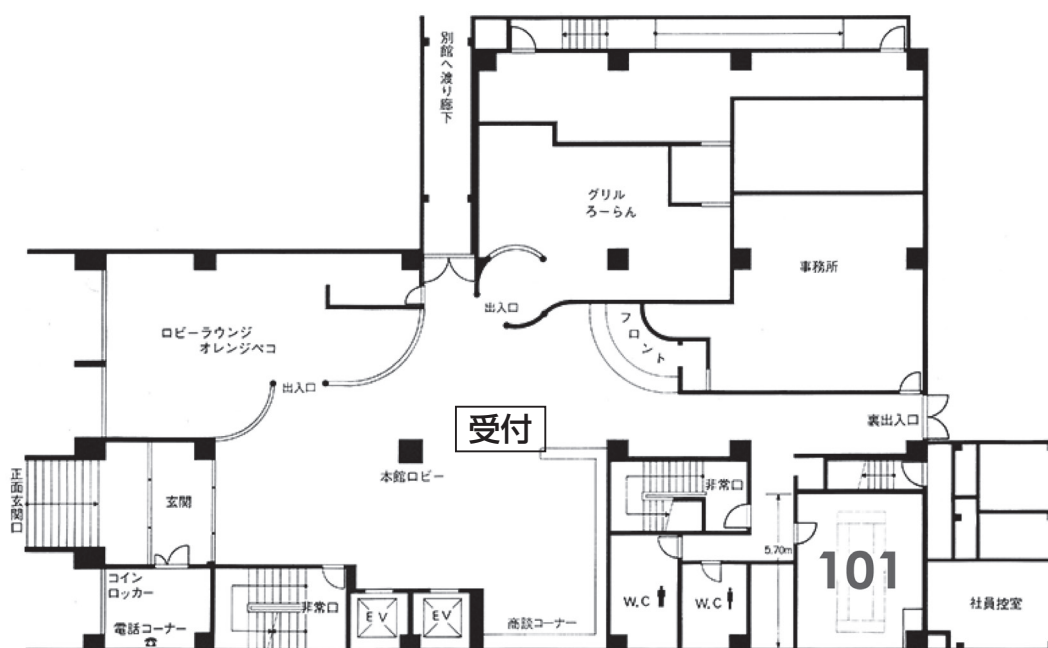
大阪コロナホテル平面図	2
2021年度 次期会長…主査研修会プログラム	4
レクチャー(L1) 基調講演「ワイズの原点を共に学びましょう!」	5
レクチャー(L2) 西日本区の現況及び国際の現状報告	7
(L2-1)西日本区の現況(2022年1月半年報)	
(L2-2) 国際協会…アジア太平洋地域の現状	
レクチャー(L3) 新役員紹介&次期西日本区理事活動方針・ゴール	15
(L3-1)第26回西日本区大会、アジア太平洋地域大会、第3回東西交流会	
(L3-2)西日本区行事予定	
(L3-3)西日本区強調月間リスト	
レクチャー(L4)次期事業主任活動方針	20
(L4-1)Yサ・ユース 清水 淳(とやま)	
(L4-2)地域奉仕・環境 伊藤文訓(長浜)	
(L4-3)EMC 塚本勝巳(京都ウエスト)	
(L4-4)国際・交流 小田哲也(福岡中央)	
レクチャー(L5-1)部長と事業主査と事業主任の情報伝達と連携	28
(L5-2)会長の責務	32
レクチャー(L6)キリスト教理解	33
レクチャー(L7)YMCA理解	34
レクチャー(L8)会長…事務手続き	42
西日本区事務所及び理事事務局の業務役割	
添付資料:半年報、会員異動報告書、広義会員願い、功労会員届	
次期部長活動方針・活動計画	52
中部 山口みはる(金沢)、びわこ部 林 宏一(彦根)、京都部 石倉尚(京都キャピタル)、 阪和部 正野忠之(大阪泉北)、中西部 福島眞一(大阪土佐堀)、六甲部 若林成幸(宝塚)、 瀬戸山陰部 橋崎恵子(姫路グローバル)、西中国部 金子敏郎(広島)、九州部 今村 格(熊本)	
西日本区役員プロフィール	70
役員顔写真一覧	91
役員連絡先	92
ワイズ物品一覧・注文シート	93
ワイズソング・YMCAの歌	

別館1F



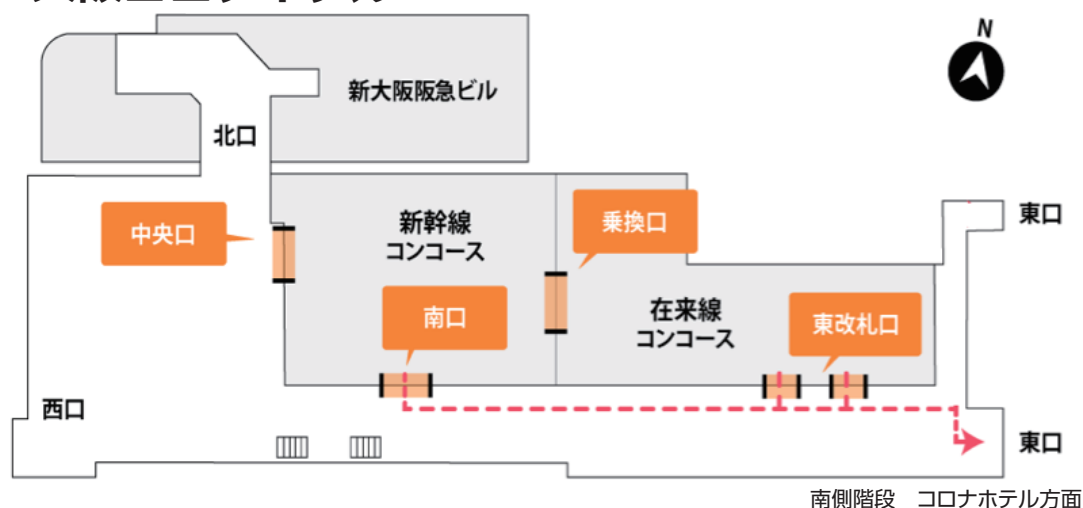
別館2F メイン会場





本館 1 F

大阪コロナホテル



- 新幹線でお越しの方はコンコース南改札口を出て左へ進んでください。JR 東改札口が左手に見えてきます。
- JR でお越しの方は在来線コンコース左改札口を左へ進んでください。
ここからは同じ経路です ここから徒歩 3 分です。
ここからは右記の番号順にお進みください。

1. 右手にセブンイレブンが見えてきます。そのまま進んでください。
2. 東口階段が見えてきますので東口階段を降りてください。
3. 東口階段を降りると正面に【新大阪東口】と書かれたオブジェがあります
4. オブジェ左側にベンチが有りますのでベンチを右手に JR 高架を左手に真直ぐ進んでください。
5. 右手に【ビジネス新大阪】と言う賃貸マンションが見えてきます。
6. そのまま真直ぐ、左手に大阪コロナホテル入口が有ります。到着です。

2021年度 次期会長・主査研修会 プログラム (L=レクチャー D=ディスカッション)

日 時 2022年 3月 12日(土)

※状況により当日プログラムの一部変更可能性もございますが、ご了承ください。

総合司会(LD委員) 正 村 曉 子彦 根 シャトー

時間帯	プログラム	会場	担当者	氏名(敬称略)	所 属 ク ラ ブ
13:00 15	■開講式	別館200A			
	(1)開講点鐘		理事 新山 兼司		京 都 ト ッ プ ス
	(2)ワイズソング斉唱				
	(3)開講の祈り		クリスチャニティー委員長 川口 恵名		名 古 屋
	(4)開講挨拶		理事 新山 兼司		京 都 ト ッ プ ス
13:15	(5)オリエンテーション		LD 委員長 馬場 昭宏		京 都 ト ウ ー ビ ー
13:15 50	L1 基調講演	別館200A	日本YMCA同盟会長 川本 龍資		名 古 屋
14:05	テーマ『ワイズメンの原点を共に学びましょう』				
14:05 30	L2 西日本区の現況及び国際の現況報告	別館200A	理事 新山 兼司		京 都 ト ッ プ ス
			アジア太平洋地域会長 大野 勉		神 戸 ポ ー ト
14:35					
14:35 10	移 動 ・ 休 憩 ①				
14:45					
14:45 60	L3 新役員紹介&次期理事活動方針	別館200A	次 期 理 事 田 上 正		熊 本 む さ し
			次 期 書 記 上 村 眞 智 子		熊 本 ジ ェ ー ン ズ
	次期理事としての主題、活動方針、ゴール等について説明と次期役員の紹介。				
	L4 次期事業主任活動方針発表	別館200A	次 期 主 任 (4 事 業)		
15:45	西日本区の各事業の説明をします。ワークブックをよく読んでおいてください(質問は、質問用紙に)		Yサ・ユース:清水淳、地域奉仕・環境:伊藤文訓		
			EMC:塚本勝己、国際・交流:小田哲也		
15:45 10	移 動 ・ 休 憩 ②				
15:55					
15:55 60	L5 部長・事業主査・事業主任の伝達・連携	別館200B	西日本区書記 河合 博之		京 都 ト ッ プ ス
			次期西日本区書記 上村 眞智子		熊 本 ジ ェ ー ン ズ
			LD 委員長 松岡 省吾		阿 蘇
	L5 会長の責務	別館200A	アジア太平洋地域EF事業主任 森田 美都子		京 都 バ レ ス
16:55			LD 委員長 正村 暁子		彦 根 シ ャ ト ー
16:55 10	移 動 ・ 休 憩 ③				
17:05					
17:05 20	L6 キリスト教理解	別館200A	西日本区チャブレン 立野 泰博		熊 本 ジ ェ ー ン ズ
17:25					
17:25 20	L7 YMCA理解	別館200A	担 当 主 事 光 永 尚 生		日 本 Y M C A 同 盟
17:45	YMCAとワイズの協力関係について学びましょう。				
17:45 20	L8 会長・事務手続き	別館200A	次 期 書 記 上 村 眞 智 子		熊 本 ジ ェ ー ン ズ
			西日本区事務所 坂本 ・ 中道		
18:05					
18:05 10	■アンケート作成	別館200A			
18:15					
18:15 15	■閉講式	別館200A			
	(1)閉講挨拶		次 期 理 事 田 上 正		熊 本 む さ し
	(2)感謝		LD 委員長 鶴 丹 谷 剛		神 戸
	(3)閉講の祈り		クリスチャニティー委員長 川口 恵名		名 古 屋
	(4)YMCAの歌斉唱		一 同		
18:30	(5)閉会点鐘		理 事 新山 兼司		京 都 ト ッ プ ス

ワイズの原点を共に学びましょう！

ハンドブックの初めの 2 ページを意識共有する
日本 YMCA 同盟会長 川本 龍資（名古屋）

2022 ～ 2023 年度西日本区理事 田上 正

主題：原点を知り将来に生かす

スローガン：立ち上がれワイズモットーと共に

I ワイズメンズクラブの 国際聖句

※ YMCA のモットーが、ワイズの国際聖句として定められている ※

『父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。』

新約聖書 ヨハネによる福音書 17 章 21 節

・YMCAの正章

赤い逆三角形に記された「SPIRIT」（精神）、「MIND」（知性）、「BODY」（身体）は、三つが調和した全人的な人間の育成を目指すことを表しています。中央は、開かれた聖書で、新約聖書ヨハネによる福音書 17 章 21 節「すべての人を一つにしてください」が示され、国家、民族、人種、宗教の隔たりを超えた YMCA のモットーです。



→ YMCA とワイズメンズクラブは、同じ土台の上に築かれている！
YMCA とワイズの関係は、「地球と月」のような関係である（One Unit と捉える）

II ワイズメンズクラブの 目的

前 文

『ワイズメン、ワイズメネットは一個の理想主義者であることが求められております。それには、何をおいても先ず YMCA に対する奉仕を旨とし、YMCA とのつながりを一層深めるための方向づけや活動方針、さらにはそのための具体的プログラムの策定など、クラブがそれぞれの地にあってこれらを実現し、献身奉仕することを心がけなければなりません。みなものものが一つとなってワイズダムの“きずな”をより強く結び、ともども YMCA 運動へ仕えることを願うものです。』

※ワイズ・ワイズメネットに求められる 「理想主義者」とは?※

目 的

1. まず第一にYMCAのためのサービスクラブとして活動する。

→ YMCAサービス・ユース事業

2. その他ワイズメンにふさわしい団体を支援する。

→ 地域奉仕・環境事業

3. 市民的、国際的諸問題のただ中で、倦むことなく、一党一派に偏しない正義を追求する。
→ EMC事業の「C」自己研鑽、例会
4. 宗教的、市民的、経済的、社会的、国際的諸問題につき、会員達を啓発し、積極的にこれに参加連帯させる。
→ EMC事業の「C」「M」「E」
5. 健全な交友関係を創り出す。
→ 国際・交流事業、自己研鑽
6. この協会の国際、地域、区の事業を支援する。
→ 各種献金、西日本区費

Ⅲ ワイズメンズクラブの モットー

「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」

— To acknowledge the duty that accompanies every light —

※理想主義者であることを求められているワイズメンが、現実の社会生活を送る上で守っていくべき、非常に崇高で大切な金言だと思います。このモットーを携え、「いざ立て!ワイズメン!」 世界中の YMCA・ワイズに連なる仲間と協働し、より良い世界の実現のために努力していこうではありませんか!

(西日本区定款第2条第2項、ワイズソング)

西日本区現況

西日本区理事 新山兼司（京都トップス）

※ 2022 年 1 月 1 日現在のメンバー数 1,366 人

2022 年にメンバー数を 2,022 名にするという目標

1997 年の西日本区発足時	メンバー数	1,952 人
2016 年	メンバー数	1,494 人（458 人減 - 23.5%）
2020 年	メンバー数	1,411 人（541 人減 - 27.7%）
2021 年	メンバー数	1,367 人（585 人減 - 29.9%）
2022 年（1 月 1 日）	メンバー数	1,366 人（586 人減 - 30.0%）

この大きな減少は将来的危機状態と、とらえなければなりません。

西日本区EMC事業委員会・EMCアドバイザー・ワイズ将来構想特別委員会と連携を計り 2022 年のワイズ国際 100 周年・西日本区 25 周年に向かって、皆様と共に切磋琢磨し、西日本区全域に良い風を吹かせましょう!

※ 西日本区各部の動向

部	年代	クラブ数	会員数	年代	クラブ数	会員数
中 部	2002	11	168	2022	6	84
びわこ部	2002	7	193	2022	6	92
京都部	2002	16	437	2022	18	511
阪和部	2002	10	190	2022	7	106
中西部	2002	11	219	2022	7	94
六甲部	2002	8	152	2022	8	136
瀬戸山陰部	2002	6	110	2022	4	48
西中国部	2002	5	82	2022	5	60
九州部	2002	11	247	2022	17	235
	計	85	1,798	計	78	1,366

クラブ内での課題

◎ ワイズメンズクラブは、将来への備えが出来ていなければならない。

◎ ワイズメンズクラブは、時代に適応しなければならない。

◎ ワイズメンズクラブは、時代に追いつかねばならない。

・変化してはいけないもの

・変化してもよいもの

変化を考えましょう!

・変化しなければならないもの

1. 若い世代の会員が少ない課題
 - ・様々な職業に年齢層がいることでクラブの活性化につながる。
2. 女性会員が少ない課題
 - ・この数年で増加はしていますが全体の約 16%です。
3. クラブ運営の課題
 - ・会費の問題（若い世代や女性活躍を考えると?）
 - ・例会時間（メンバーの集まりやすい時間になっていますか?）
 - ・例会場所（主にYMCAやホテルの利用だがリモート例会の取り組みも考えては?）

※ ビジョンの策定

◎ 時代が大きく変化している中で、各クラブのビジョンを改めて策定してはどうでしょう。

◎ 持続可能なビジョンの策定

- ・メンバー基盤強化・参加者全員が積極的にかかわる。
- ・適応力を高める・より大きなインパクトをもたらす。
- ・会員増強の成功は、クラブ全体の活力につきます!

※次年度よりメネット事業主任を廃止

西日本区メネット事業委員会という常置委員会を設置

2021-2022 年度 西日本区事業目標

Y M C A サービス・ユース献金（国際 A F S 含む） 1 人あたり 2,000 円	Y E S（Y's Extension Support）献金 1 人あたり 500 円
地域奉仕活動（C S）献金 1 人あたり 1,500 円	R B M（ロールバックマラリア）献金 1 人あたり 800 円
T O F（Time of Fast）献金 1 人あたり 1,400 円	災害支援金 合計 200 万円
FF（Family Fast）献金 1 人あたり 800 円	E（Extension）新クラブ設立 2 クラブ
BF（Brotherhood Fund）献金 1 人あたり 1,500 円	MC（Membership & Conservation） 会員増強 前期末 +300 名
EF 献金（Endowment Fund） 記念ごとの献金 1 口 120CHF 合計 3,000CHF	情報発信 区報年 3 回／理事通信年 12 回
JWF（Japan West Y's Mem's Fund）献金 記念ごとの献金 1 口 5,000 円目標 合計 50 万円	LT（Leadership Training）次期役員研修会、 次期会長・主査研修会 各 1 回
	レガシー基金 1 人あたり 1,000 円以上
西日本区メネット事業 国内プロジェクト ヘアードネーション事業	自由献金

西日本区会員数推移表

	西部			六甲部			瀬戸山陰部			西中国部			九州部			西日本区計			
	クラブ	会員	平均人	クラブ	会員	平均人	クラブ	会員	平均人	クラブ	会員	平均人	クラブ	会員	平均人	クラブ	会員	平均人	15人未満の
スター			増減			増減			増減			増減			増減			増減	クラブ
1997	17	378	22.2										9	212	23.6	81	1952	24.1	16
7.1																			
98	19	395											10	231		85	1948	22.9	
99	19	369											10	235		85	1892	22.3	
0	19	365											10	225		84	1824	21.7	
1	19	358	18.4										10	224		84	1861	22.2	
2				8	152	19.0	6	110	18.3	5	82	16.4	11	247		85	1798	21.2	
3				8	143		6	105		5	74		12	267		86	1745	20.3	
4				8	142		6	102		5	73		13	275		88	1719	19.5	
5				8	144		6	104		5	70		13	261		89	1686	18.9	
6				8	150		6	106		5	54		13	262		87	1661	19.1	
7				8	153		6	101		5	56		13	259		87	1630	18.7	
8				8	157		6	90		5	47		14	286		89	1672	19.2	
9				8	148		6	87		6	82		16	325		89	1714	19.3	
10				8	142		5	81		6	72		16	295		89	1631	18.3	
11				8	143		5	86		7	89		15	288		89	1676	18.8	
12				8	152		5	83		7	88		15	259		87	1634	18.8	
13				8	145		5	84		7	92		15	254		86	1604	18.7	
14				8	142		5	76		6	77		16	280		86	1577	18.3	
15				8	135	16.9	5	67	13.4	6	74	12.3	15	271	18.1	83	1530	18.4	37
増減				0	-17	-7	-1	-43	-9	1	-8.0	-3	6	59	-9	2	-422	-47	
16				8	131	16.3	5	64	12.8	6	74	12.3	15	269	17.9	83	1494	18.0	38
増減				0	-21	-4	-1	-46	-3	1	-8.0	0	6	57	-2	2	-458	-36	
17				8	129	16.1	5	62	12.4	6	80	13.3	16	299	18.7	85	1536	18.1	37
増減				0	-23	-2	-1	-48	-2	1	-2.0	+6	1	87	+3 0	4	-416	+42	
18				8	132	16.5	5	54	10.8	5	64	12.8	16	286	17.9	82	1464	18.9	32
増減				0	-20	-3	-1	-56	-8	0	-18	-16	1	74	-13	1	-488	-72	
19				8	130	16.3	4	49	12.3	5	68	13.6	17	284	16.7	80	1439	18	30
増減				0	-22	-2	-2	-61	-5	0	-14	4	1	72	-2	-1	-513	-25	
20				8	132	16.5	4	47	11.8	5	65	13	17	252	14.8	80	1411	17.6	39
増減				0	-20	2	-2	-63	-2	0	-17	-3	1	40	-32	-1	-541	-28	
21				8	139	17.3	4	46	11.5	5	61	12.2	17	241	14.2	80	1367	17.0	36
増減				0	-13	7	-2	-64	-1	0	21	-4	1	29	-11	-1	-585	-44	
増減																			
2020年度 入会者数 62																			
																		退会者数 106	
																		差引	-44

西日本区現勢

2022年1月1日現在

部	クラブ名	2022.1.1	2021.7.1	2021.1.1	増減
中 部	金 沢	7	6	8	1
	名古屋	20	19	19	1
	名古屋東海	19	20	20	-1
	名古屋南山	7	7	7	0
	名古屋グランパス	15	15	14	0
	と や ま	16	16	17	0
小 計	6	84	83	89	1
びわこ部	近 江 八 幡	19	19	19	0
	彦 根	8	8	8	0
	彦根シャトー	26	24	24	2
	長 浜	20	20	21	0
	滋賀蒲生野	13	12	12	1
	高 島	6	6	10	0
小 計	6	92	89	101	3
京 都 部	京 都	25	26	30	-1
	京 都 パ レ ス	52	52	56	0
	京都ウエスト	41	42	41	-1
	京都めいぷる	23	24	26	-1
	京都キャピタル	33	32	32	1
	京都プリンス	17	17	17	0
	京都センチュリー	7	7	7	0
	京都ウイング	48	48	48	0
	京 都 洛 中	14	14	14	0
	京都エイブル	12	13	13	-1
	京都グローバル	61	60	64	1
	京 都 み や び	7	7	7	0
	京都トップス	61	53	53	8
	京都トゥービー	28	31	33	-3
	京 都 東 稜	14	13	13	1
	京 都 ウ ェ ル	11	11	11	0
	京 都 Z E R O	38	34	35	4
	北京都フロンティア	19	23	25	-4
小 計	18	511	507	525	4
阪 和 部	和 歌 山	17	15	14	2
	奈 良	18	17	17	1
	大阪サウス	16	17	20	-1
	大阪河内	9	9	10	0
	大阪長野	7	7	7	0
	大阪泉北	22	23	23	-1
	和歌山紀の川	17	17	17	0
小 計	7	106	105	108	1

注1 会員数には連絡主事を含み、特別メネットを除く

注2 増減は2021年7月1日との比較

部	クラブ名	2022.1.1	2021.7.1	2021.1.1	増減
中 西 部	大 阪	14	14	15	0
	大阪土佐堀	12	13	13	-1
	大阪高槻	11	11	11	0
	大阪センテニアル	17	17	17	0
	大 阪 西	15	15	17	0
	大阪茨木	11	12	13	-1
	大阪なかのしま	14	14	18	0
小 計	7	94	96	104	-2
六 甲 部	神 戸	21	22	22	-1
	西 宮	22	22	22	0
	神 戸 西	11	11	9	0
	神戸ポート	22	22	20	0
	宝 塚	20	20	22	0
	さ ん だ	8	8	8	0
	神戸学園都市	14	16	16	-2
	芦 屋	18	18	18	0
小 計	8	136	139	137	-3
瀬 戸 部	姫 路	7	6	7	1
	岡 山	18	18	18	0
	姫路グローバル	10	10	10	0
	米 子	13	12	11	1
小 計	4	48	46	46	2
西中国部	広 島	24	24	24	0
	福 山	3	3	5	0
	呉	11	11	12	0
	東 広 島	4	5	5	-1
	岩国みなみ	18	18	19	0
小 計	5	60	61	65	-1
九 州 部	長 崎	4	4	4	0
	熊 本	23	24	25	-1
	北 九 州	7	7	8	0
	福岡中央	12	13	13	-1
	熊本ジェーンズ	34	35	35	-1
	八 代	8	8	8	0
	鹿 児 島	9	10	13	-1
	熊 本 む さ し	16	16	18	0
	熊 本 み な み	24	25	23	-1
	宮 崎	8	8	8	0
	熊 本 ひ が し	14	15	16	-1
	阿 蘇	18	19	19	-1
	熊 本 に し	14	14	13	0
	熊本ネクサス	8	8	8	0
	熊本スピリット	10	8	8	2
	熊本水前寺	14	15	16	-1
	熊 本 五 福	12	12	14	0
小 計	17	235	241	249	-6
合 計	78	1366	1367	1424	-1

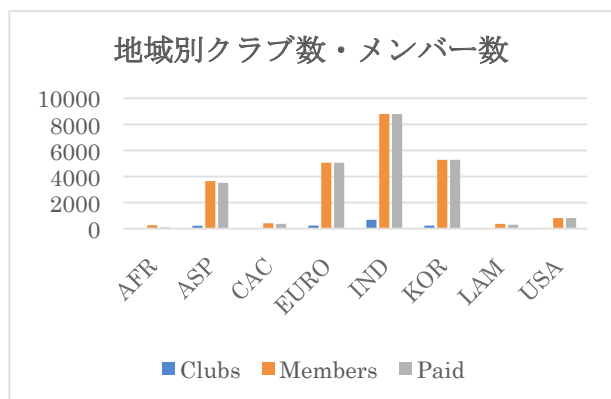
国際協会・アジア太平洋地域の現状 2021-22

国際議員・アジア太平洋地域会長

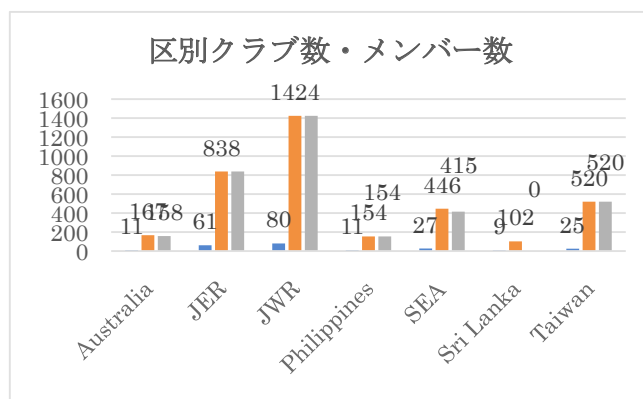
大野 勉（神戸ポート）

1. 国際協会・アジア太平洋地域の現勢 (2021.2 現在)

<国際協会>



<アジア太平洋地域>



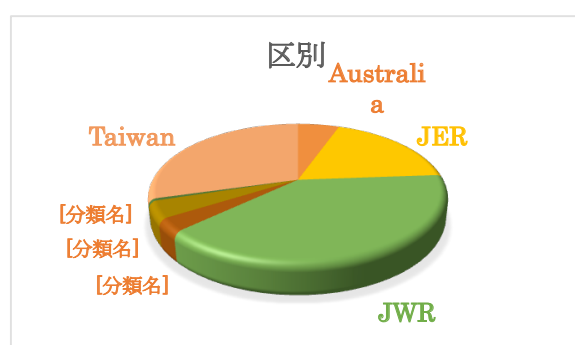
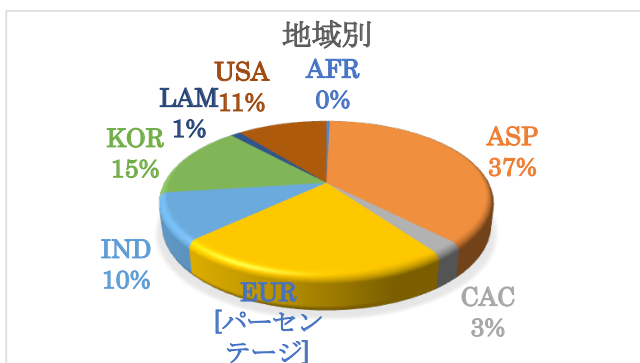
Area	Clubs	Members	Paid
AFR	43	264	96
ASP	224	3,651	3,509
CAC	24	411	369
EUR	241	5,061	5,056
IND	679	8,799	8,799
KOR	237	5,283	5,283
LAM	34	370	301
USA	57	809	809
Total	1,539	24,648	24,222

Region	Clubs	Members	Paid
Australia	11	167	158
JER	61	838	838
JWR	80	1,424	1,424
Philippines	11	154	154
SEA	27	446	415
Sri Lanka	9	102	0
Taiwan	25	520	520
Total	224	3,651	3,509

緑色は増加、灰色は会費納入困難区/部/クラブ

<献金での貢献>

AREA / Region	ASF	BF	BF STAMP	TOTAL BF	EF	TOF	RBM	YES	TOTAL	%
ASI Pacific Australia	1,035	708		708	703	1,986	1388		5,820	2,10%
Japan East	915	8,147	285	8,432	240	6092	3812	2,383.8	19,491	7,04%
Japan West	1,682	14,741	297	15,038	1,213	16482	7257	8	41,672	15,05%
Philippines	60	100		100	2,880	115	100	2,999.0	3,255	1,18%
South East Asia	336	1001		1,001	138	2004	763	0	4,242	1,53%
Sri Lanka	11	265		265	132	111	12		531	0,19%
Taiwan	504	9223		9,223	3,954	3,145	14,345	392.5	31,171	11,26%
ASI PACIFIC (Sub-Total)	4,544	34,186	582	34,767	9,259	29,934	27,677	6	106,182	38,35%



2. アジア太平洋地域所属の国、地域

オーストラリア、日本、フィリピン、シンガポール、マレーシア、タイ、バングラデシュ、カンボジア、ミャンマー、ネパール、香港、マカオ、スリランカ、パキスタン、台湾

合計 15 か国

(ネパール、パキスタンは 2019-2020 年度に新クラブ設立、モンゴルは 2019-2020 年度にクラブ解散)

3. 国際協会・アジア太平洋地域執行役員

国際協会 (2021-2022)

会 長: キム・サンチェ(韓国)
直前会長: ジェイコブ・クリステンセン(デンマーク)
次期会長: K・C・サミュエル (インド)
会 計: T・M・ジョース (インド)

アジア太平洋地域 (2021-2022)

会 長: 大野 勉(神戸ポート)
直前会長: デビッド・ルア(シンガポール)
次期会長: チャーミン・シェン (台湾)
書 記: 前田 香代子(熊本ジェーンズ)
会 計: 柿島 裕 (大阪西)

4. 主題・スローガン

<2021-22 国際会長> Kim Sang-chaе(Korea) キム・サンチェ (韓国)

主 題 “Y’s Men with the World” 「世界とともにワイズメン」

スローガン “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」

<2021-22 アジア太平洋地域会長> 大野 勉 (神戸ポート) OHNO Ben Tsutomu(JWR)

主 題 “Make a difference beyond the 100th” 「100 年を越えて変革しよう」

スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」

<2022-23 国際会長> Samuel Chacko (India)

主題: Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT (フェロウシップとインパクトで次の100年へ)

スローガン: BEYOND SELF and BE THE CHANGE (自己を超えて、変化を起こそう)

<2022-23 アジア太平洋地域会長> Chen Ming Chen (Taiwan)

主題: Elegantly Change With New Era (新しい時代とともに、エレガントに変化を)

スローガン: Do it Right Now (今すぐ実行を)

5. 国際協会/アジア太平洋地域会費・NDERF (自然災害緊急支援基金)

国際協会: 17.5 スイスフラン/半期

アジア太平洋地域: 3US ドル/半期

NDERF (自然災害緊急支援基金): 2US ドル/年

6. 国際表彰 (2020-2021 年度表彰 東西日本区関連)

● 区業績表彰

東日本区、西日本区 (ブロンズ賞)

● エルマー・クロウ賞

➤ 東日本区: 御園生 好子 (東京サンライズ)

➤ 西日本区: 吉田 由美 (大阪なかのしま)

- 国際ブースター賞
 - クラブ賞（6名以上の会員増加）
 - ✧ 東日本区：甲府 21 クラブ
 - ✧ 西日本区：京都グローバルクラブ
 - 個人賞（3名以上の入会者紹介）
 - ✧ 東日本区：3名
 - ✧ 西日本区：1名
- チャレンジ 22 表彰
 - 各区内で最多のメンバー増員があったクラブ
 - ✧ 東日本区：甲府 21 クラブ（5名）
 - ✧ 西日本区：京都クラブ、京都 ZERO クラブ、北京都フロンティアクラブ（各 3 名）
 - 9 月～1 月内に新クラブをスポンサーしたクラブ
 - ✧ 千葉クラブ（東日本区：千葉ウエストクラブチャーター）

7. チャレンジ 22 (Challenge22)

2019 年 4 月、「2022 年とその先に向けて」で定められた目標を達成するための実施計画である「チャレンジ 22」が発表され、国際会長/国際書記長から全世界のクラブ会長に発信された。計画は、具体的に 7 つのチャレンジ（取り組み課題）を挙げ、それぞれの課題に国際本部、各区、各クラブなどがどのように対応すべきかが示されている。

＜活動するワイズメンの精神＞（国際協会 HP Challenge22 PPT より）

関係者	期待される行動
会員	肯定的なワイズの経験を共有する / 世界中のどこでも、ワイズメンズクラブに友人を紹介する
クラブ	レガシーストーリーを共有する / 世界中のどこでも、クラブをスポンサーする / 2 人のユースを、会員として加わるように、3 年間経済的に補助する / YMCA のスタッフまたはボランティアをクラブの例会に招待し、協力関係を築く / 会員が目標を達成できるように支援する。1 年に 2 つの奉仕事業を実施し、集団チャレンジの一環として国際本部に報告する
部	クラブ訪問を通じて、チャレンジ 22 についてクラブと話し合う。区または YMCA との関係性を築く / クラブが目標を達成し、報告を区と共有するよう支援する
区	TW22 - 特別エクステンションチームを設立する / クラブと協力してクラブの数と会員数を 2 倍にする / 国際 RDE サミットに参加する / レポートやインパクトのあるストーリーを共有する / 会員数の報告、会費および献金の徴収を期限内に行う

＜会員増強のための今年度の施策＞

- 会員増強 100 日間キャンペーン（9 月 1 日～12 月 9 日）
- メンバーの配偶者、18-35 歳の者が新たに会員になった場合、国際会費を半額とする。
アジア太平洋地域では、35 歳までの既存会員および既存会員の配偶者である新規会員は、入会日から 2 年間、または 2020 年 8 月 1 日から免除されます。（2021-22 年度後期まで適用）
- オープンハウス（入会候補者へのクラブ紹介のイベント）開催の奨励
- グローバルクラブ（グローバル＋ローカル）の設立の奨励。リモート会議で例会等に参加する遠隔地会員を会員とする仕組み。東西日本区の「広義会員」と同様の仕組み。

8. P・W・アレキサンダー遺産計画

<計画の概要>

- オハイオ州トレドに墓碑、記念壁設置、トレドの公園の名称を変更（完了）
- 記録文書のデジタル化、公開（進行中）
- ジュネーブの国際本部の事務所スペース購入
- 新しい国際奉仕プロジェクトの開設

<献金目標>

- 2019 年度から 3 年間で 100 万 US ドル：各区での目標達成。1 人当たり 30 米ドル。
- 個人献金額に応じて表彰が行われる。
- 終身名誉会員：国際協会 100 周年基金への協力、個人または団体で 2,500 米ドル。
（これは、100 周年記念事業としての取り組み）

9. トピックス

- 「会員増強 100 日間キャンペーン」の継続実施（9 月 1 日から 12 月 9 日まで）
- ウィーク 4 ウェイストの取り組み継続を通して、地域に貢献。
- ヒールザワールド (HTW) 新型コロナウイルス後の「世界を癒す」ために、より強い国際的な関与と組織的な連携、連帯を構築し、私たちのボランティアの力をより発揮することが目的。
- iGo (Internship for Global Outreach) : YEOP の後継プログラム。世界に手を伸ばすためのインターン制度。青年の成長を目的として YMCA やワイズメンズクラブ会員で事業を行なっている者が、ユースに国際的なインターン（職業体験）の場を提供するプログラム。申請時 18 歳～29 歳、期間は 3 ヶ月。
- アジア太平洋地域 YMI 創立 100 周年プロジェクト
 - ・気候変動対応プロジェクト：太陽光発電設備設置（フィリピン・マカティ YMCA）
 - ・食と文化プロジェクト（Food, Our Heritage & Culture）
 - ・ソングフェストプロジェクト（Song Fest）

10. 今後の予定と国際選挙

- 2022 年 11.15 (火)～17 日 (木)：国際協会 100 周年を祝う会
（台湾・台北）
- 2023 年：アジア太平洋地域大会開催地は香港。日程は未定。
- 2024 年：国際大会開催地は、インド・バンガロール。日程は未定。



何でも終わるまでは
不可能に見える。
（ネルソン・マンデラ）

11. 国際・地域に関する情報について

西日本区 HP のリンクより、国際、アジア太平洋地域へとリンクできます。

◎国際協会本部：<https://www.vsmen.org>

◎アジア太平洋地域：<http://vsmenap.org>

これは近い将来変更になる予定です。（現在改修中）

◎また、翻訳ツールとして「DeepL」というサイトは、かなり高度な翻訳をしてくれます。

<https://www.deepl.com/ja/translator>

2022 - 2023 年度西日本区理事方針

2022 - 2023 年度西日本区理事

田上 正（熊本むさし）

主題 原点を知り将来に生かす

Know the origin and utilize it in the future !

スローガン 立ち上がれワイズモットーと共に

Stand up Y' s Men with our Motto !

理事方針

2022 年に創立 100 周年を迎えた Y' s Men International と 25 周年を迎えた東西日本区は、次のビジョンを見据え新しい活動方針を構築し、実現に向けて活動しなければなりません。

このためには YMCA やワイズメンズクラブが生まれた原点、自分たちのクラブが設立された時やワイズメンズクラブに入会した時の感激を思い起こすことが必要です。

私はワイズメンズクラブに入会し、年齢も性別も、信条や宗教、政治的な考えの異なるメンバーが、親睦を深め学びの時を共有して互いに切磋琢磨し、YMCAを支えYMCAと共に社会奉仕をする姿に大きな感銘を受けながら、もう一つの人生を歩んでいます。

皆さん、ワイズメンズクラブ入会時の感激をメンバーと共に語り合い、共に味わい、共に新たな一步を踏み出そうではありませんか。

この数年 Covid-19 の世界的な感染拡大により、ワイズメンズクラブのメンバー、メネット、ビジターたちが集まり親睦と学びを深めるクラブの例会や、部や区単位で開催してきた多くの会議や大会が中止や縮小開催になりました。しかし、この中でオンラインを利用した Web 会議やハイブリッド形式による会議や大会は、私たちに多くの発見と学びを与え、さらには新しいクラブやメンバーとの繋がり方を教えてくれました。とは言え、いかにオンラインが有用であっても限界があり、仲間が一同に集まり研鑽や親睦の中に培ったエネルギーを奉仕に向かう力にはかないません。

これからワクチンの普及とともに、Covid-19 と共存する時代がやってきます。感染防御に留意した例会や部や区レベルの学びを通して、メンバーの研鑽と成長、クラブの魅力づくり、地域との結びつきなどのアピールができるようになります。更にオンライン利用の経験はこれらの学びの機会を増やし、充実する手助けとなるでしょう。これらの積み重ねが、会員成長と新しい会員やクラブの増加に繋がると信じます。V 字回復の目標継続のために皆様のご協力をお願いいたします。

ワイズメンズクラブの活動は会員個々の生業ではありません。もう一つの人生であり、一人の人としての熱き心とも言えましょう。そのために原点であるワイズメンズクラブのモットーに立ち、将来に向けて立ち上がらねばなりません。そのような意味から、スローガンを「立ち上がれワイズ、モットーと共に !:Stand up Y' s Men with our Motto !」といたしました。

*以下の事柄を先ず実行すべき重要事項として掲げます。

- ・ Covid-19 によるダメージを受けた会員、クラブへの支援
- ・ 感染対策を重視した対面例会の復活と例会の充実
- ・ オンライン利用の普及
- ・ 連絡網の整備とコミュニケーションの充実

上記の構築により、

- ◇何よりもワイズライフを楽しむ
- ◇クラブや部、区での役割を楽しむ
- ◇楽しいワイズメンズクラブを少人数のままで留めない

<事業別の方針>

【YMCA サービス・ユース事業】

- * With/After コロナ時代における
- ・ YMCA への支援とパートナーシップ
- ・ YMCA ユースリーダーとの交流と支援
- ・ 地域活動の発信とアピール（良い事例をワイズに発信、地域にアピール）
- ・ 各部における YYY フォーラムの開催
- ・ ユースコンボケーションへの参加者の確保と参加者からの学びのフィードバック
- ・ Y サ・ユース献金への協力、使用用途の理解と目標額の達成
- ・ Y's、YMCA スタッフ・リーダー・リーダー OP・プログラム参加者の交流
- ・ Youth Action 2022 に関心を！

【地域奉仕・環境事業】

- * With/After コロナ時代における
- ・ SDGs への継続的な取り組み、クラブ間の温度差の解消
- ・ 地域奉仕・環境事業の復活、参加とアピール
- ・ ワイズデイの実施とアピール
- ・ CS 献金、FF 献金、TOF 献金の理解と、献金目標達成
- ・ UGP（国際統一事業：Roll back malaria, Heal the world）への協力
- ・ コミュニケーションツールとしてのオンラインを利用した地域奉仕・環境事業の開発と取り組み
- ・ Youth Action 2022 に関心を！

【EMC 事業】

- * With/After コロナ時代における
- ・ 例会の充実と 100%出席の努力、直接例会に来ることのできない会員への Web 会議環境の構築支援
- ・ クラブ毎の目標増員と増員に向けた活動
- ・ 例会の充実（対面例会の復活、ハイブリッド例会の研究、卓話者開発など）
- ・ 新入会員オリエンテーションの充実
- ・ クラブの EMC 事業計画の作成とアドバイス
- ・ EMC シンポジウムの実施、EMC にむけた各クラブが実施している取り組みと学び
- ・ コミュニケーションツールとしての Web を利用した新クラブ設立
- ・ EMC に関係する各委員会との協働
- ・ EMC 調査集計表による努力目標達成度の評価と次の計画の立案
- ・ ワイズビジネス交流会やその他の EMC をサポートする企画等への支援
- ・ YES 献金への協力
- ・ 沖縄部設立への支援

【国際・交流事業】 ☆交流は楽しいことをアピール致しましょう!

* With/After コロナ時代における

- ・東西日本区交流会の実施 (2023 年 2 月 4-5 日、神戸)
 - ・DBC / IBC の実施とアピール
 - ・BF・EF への理解と協力
 - ・STEP・iGo (Internship 4 Global Outreach:) 事業を含めたユースの育成への協力
- iGo : ワイズメンズクラブ国際協会と YMCA が共同で行っている、若年層に短期 (一般的に 3 ヶ月) のインターンシップを提供する新しいプログラム
- ・AYC, IYC 参加のユース育成と支援
 - ・Web 会議やオンライン交流実施への支援
 - ・アジア・太平洋地域や国際へ関心が向くような情報発信
 - ・ワイズメンズ国際協会設立 100 周年祝会 (2022 年 11 月 15 - 17 日、台北) の紹介
 - ・西日本区大会 (2023 年 6 月 10-11 日、熊本市) での感激を!

【メネット事業】 →メネット委員会

* With/After コロナ時代における

- ・ワイズメネットの在り方、新しいメネット活動の意見交換と集約
- ・メネット交流 (部会でのメネットの集い、区大会でのメネットアワー)
- ・各部、各クラブのメネット活動への支援と広報
- ・国際プロジェクトへの協力
- ・メネット報の発行: 各クラブや部でのメネット活動の紹介など

【各種委員会】

- ・各クラブ、部、区、各種委員会広報の充実

2022 - 2023 年度 西日本区事業目標

Y M C A サービス・ユース献金 (国際 ASF 含む) 1 人あたり 2,000 円	Y E S (Y` s Extension Support) 献金 1 人あたり 500 円
地域奉仕活動 (CS) 献金 1 人あたり 1,500 円	R B M (ロールバックマラリア) 献金 1 人あたり 500 円
T O F (Time of Fast) 献金 1 人あたり 1,000 円	災害支援献金 200 万円
F F (Family Fast) 献金 1 人あたり 500 円	E (Extension) 新クラブ設立 + () クラブ
BF (Brotherhood Fund) 献金 1 人あたり 1,500 円	MC (membership & Conservation) 会員増強とワイズ理解 前期末 +100 人
E F 献金 (Endowment Fund) 記念ごと献金 1 口 120 C H F 合計 3,000 C H F	情報発信: 区報年 3 回/理事通 信年 12 回
J W F (Japan West Y` s Men` s Fund) 献金 記念ごとの献金 1 口 5,000 円 目標 合計 50 万円	L T (Leadership Training) 次期役員研修会、次期会長・主査研修会 各 1 回

第 26 回西日本区大会

2023 年 6 月 10 日・11 日（土・日）

開催場所：熊本城ホール、熊本 YMCA 本館

前夜祭

2023 年 6 月 9 日（金）熊本キャッスルホテル

ワイズメンズクラブ国際協会100周年を祝う会

2022年11月15日(火)～11月17日(木)

会場:台湾・台北

ワイズメンズクラブ国際協会100周年/東西日本区25周年記念

第3回東西日本区交流会

語ろうワイズの未来! 共に手を取り次の100年へ

2023年2月4日(土)～2月5日(日)

会場:ANAクラウンプラザホテル神戸

2022～2023年度 西日本区行事予定

年	月	事務局	強調月間	行事	区報	半年報	国内	国際	アジア・太平洋	部会(予定)
2021	9		EMC YES					IFE立候補締切		
	10	第2回役員会 案内発送	BF	第2回役員会 23日・24日 Hクライトン新大阪				ICM立候補締切		
	11		ASF YMCAサービス	次期役員研修会 27日・28日 Hクライトン新大阪			BFデレゲート応募締切 1日 ワイズデー 10日		BFAP受付締切 15日	
	12		CE H				BF切手中間締切		RDEトレーニング ミッドイヤーミーティング	
2022	1		EF			後期半年報 締切10日 後期区費 請求書発送		IFE・ICM投票締切 国際年次会議		
	2		TOF			後期区費 納入締切 15日	BF切手締切	国際半年報 1日	エリア年次会議	
	3	第3回役員会 案内発送	CS Menetts	次期会長・主査研修会 12日 ・大阪コロナホテル(現・次期役員) ・ZOOM(次期会長・事業主査)			各種献金締切 15日	後期国際会費送金	APE投票	
	4		RBM	第3回役員会/第1回準備役員会 2日・3日 Hクライトン新大阪			東西理事連絡会議			
	5	第4回役員会 案内発送	Youth Involvement Activities				代議員会議案書発送			
	6	第1回役員会 案内発送	評価と引継ぎ	区大会前夜祭 10日 岡山国際ホテル 第4回役員会/第2回準備役員会/ 区代議員会/メネットアワー 11日 区大会1日目 11日			第25回 東日本区大会 4日・5日 ホテル東日本宇都宮			
	7		Kick-off PR	第1回役員会 9日・10日 Hクライトン新大阪	第1号発行	前期半年報 締切10日 前期区費 請求書発送				
	8		LTOD IBC・DBC			前期区費 納入締切 15日		国際半年報 1日 BF代表登録用紙送付 前期国際会費送金		
	9		EMC YES					IFE立候補締切		京都部 9月 3日 阪神部 9月17日 中部 9月23日 九州部 10月 1日
	10	第2回役員会 案内発送	BF	第2回役員会 22日・23日 熊本YMCA・阿蘇キャンプ場				ICM立候補締切		中部部 10月 8日 びわこ部 10月15日 西中国部 10月29日 瀬戸山部 11月3日
	11		ASF YMCAサービス	次期役員研修会 26日・27日 Hクライトン新大阪			BFデレゲート応募締切 1日 ワイズデー 10日	100周年記念祝会 15～17日(台湾)	BFAP受付締切 15日	大甲部 11月12日
	12		CE H				BF切手中間締切		RDEトレーニング ミッドイヤーミーティング	
2023	1		EF			後期半年報 締切10日 後期区費 請求書発送		IFE・ICM投票締切 国際年次会議		
	2		TOF	東西日本区交流会 4日・5日	第2号発行	後期区費 納入締切 15日	BF切手締切	国際半年報 1日	エリア年次会議	
	3	第3回役員会 案内発送	CS Menettes	次期会長・主査研修会 11日・12日 ・大阪コロナホテル			各種献金締切 15日	後期国際会費送金	APE投票	
	4		RBM	第3回役員会/第1回準備役員会 1日・2日 Hクライトン新大阪			東西理事連絡会議			
	5	第4回役員会 案内発送	Youth Involvement Activities				代議員会議案書発送			
	6		評価と引継ぎ	区大会前夜祭 9日 第4回役員会/第2回準備役員会/ 区代議員会/メネットアワー 10日 区大会1日目 10日 区大会2日目 11日 熊本城ホール/ホテル日航熊本/熊本YMCA						
	7		Kick-off PR							
	8		LTOD IBC・DBC		第3号発行					

2022～2023年度 西日本区強調月間リスト

月	活動	ステートメント
7月	Kick-off PR	新しい期のスタートにあたって、外部への広報と、内部への情報共有の有り方を、 今一度考えてみましょう。 大槻 信二 広報・情報委員長（京都センチュリー）
8月	LTOD	リーダーシップを学んでください！クラブ・部・区等あらゆる機会に学びの場があります。 全てを有意義に捉え、スキルアップをして、リーダーシップを身に付けてください。 鵜丹谷 剛 ワイズリーダーシップ開発委員長（神戸）
	IBC・DBC	締結しているクラブ同士で交流を深め、協働事業を検討しましょう。 締結していないクラブは、他クラブを訪問し、交流を深めましょう。 小田 哲也 国際・交流事業主任（福岡中央）
9月	EMC YES	未来につながるEMC活動 新規クラブ設立の為にYES献金100%を！ 塚本 勝己 EMC事業主任（京都ウエストル）
10月	BF	BF（ブラザーフッド基金）の意味を理解し、国際奉仕団体のメンバーとして、この基金の 充実と活用に貢献しましょう。古切手を集め、皆と一緒に作業して交流を深めましょう。 小田 哲也 国際・交流事業主任（福岡中央）
11月	ASF YMCAサービス	YMCAに行きましょう。そしてスタッフ・リーダーと対話しましょう。 清水 淳 Y・サユース事業主任（とやま）
12月	CE	「それぞれ賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物 を生かして互いに仕えなさい。」ペトロの手紙Ⅰ4-10 タレントを生かして社会の必要に応え ましょう。 福永君ニクリスチャニティー委員長（米子）
	H	ワイズメンズクラブ国際協会は、創設100年となりました。 『先人に思いをはせるとともに、新たなヒストリーを築いていきましょう。』 濱田 勉 ヒストリアン（奈良）
1月	EF	EF（エンダウメントファンド）の意味を理解し、国際奉仕団体のメンバーとして、 記念すべき出来事、行事などにあわせて喜びの献金をしましょう。 小田 哲也 国際・交流事業主任（福岡中央）
2月	TOF	今一度・献金の正しい理解を深め、目標100%を目指しましょう。 伊藤 文訓 地域奉仕・環境事業主任（長浜）
3月	CS	CS献金100%達成と資金を有効活用した地域社会貢献に努めましょう。 伊藤 文訓 地域奉仕・環境事業主任（長浜）
	Menettes	例会へメネットも積極的に参加しましょう。 ネット間の交流推進、茶話会や旅行を計画して懇親を深めましょう。 吉本典子 メネット委員会委員長（熊本ジェーンズ）
4月	RBM	世界マラリアデー(25日)・1人1人の暖かい支援で国際的予防戦略にご支援をお願いします。 伊藤 文訓 地域奉仕・環境事業主任（長浜）
5月	Youth Involvement Activities	将来のワイズメンズクラブとYMCAのためにユースの活動を支援しましょう。 清水 淳 Y・サユース事業主任（とやま）
6月	評価と引継ぎ	この1年間当初の目標にしていた活動ができましたか？できたクラブはさらに発展させましょう。 できなかったクラブはどこに原因があり、何を改善すれば良いのかを話し合いましょう。 クラブの反省会や研修会、引継ぎ会はクラブはメンバーを成長にもたらします。 田上 正理事（熊本むさし）
通年	JWF	委員長未定 JWF管理委員長（ ）

2022 ～ 2023 事業主任方針

Y サ・ユース事業主任 清水 淳（とやま）

1. 事業主題

より緊密に～ワイズは YMCA とユースのために～
More Closely !! ～ Y's for YMCA & Youth ～

2. 事業方針

コロナ禍の中 YMCA の活動は大きく影響を受け、数々のプログラムの中止・縮小を余儀なくされました。この2年間は新しい手段・工夫により活動を行ってきました。YMCA が with コロナの今を乗り切っていくためにはワイズメンズクラブが緊密な関係を築きサポートすることが重要です。

現在の活動だけではなく将来の YMCA およびワイズメンズクラブのために、YMCA とのさらなる関係強化を図り、ユースの活動を支援していきます。

3. 事業計画

- ①各地域 YMCA の現状を把握し、区としての対応策を検討・実施する。
- ②ユース活動への支援を行う。
- ③ワイズメンバーと YMCA スタッフ、リーダーおよびリーダー OP(OB・OG) 等過去の関係者が再び YMCA との関わりを持つことができる取組を検討する。
- ⑤Yサ・ユース事業の活動、取組を西日本区 HP および事業通信等で発信する。
- ⑥各部における YYY フォーラム開催を支援する。
- ⑦ Y サ・ユース献金の目標達成について全クラブへ理解を求める。

4. 西日本区大会における表彰基準

- ①Yサ・ユース最優秀クラブ：Y サ・ユース事業において、他の模範となる積極的な活動を行ったクラブ
- ②YMCAサービス優秀クラブ：YMCA サービス事業を積極的に行ったクラブ
- ③ユース支援優秀クラブ：国内外でのユース支援事業を積極的に行ったクラブ。
- ④Yサ・ユース献金優秀クラブ：Y サ・ユース献金目標を 100% 達成したクラブ
ユース支援事業を積極的に行ったクラブ
- ④AYC・IYC 参加支援優秀クラブ：
「IYC 2022 IN HAWAII」への参加意義を理解し、対象者の参加を積極的に支援したクラブ
- ⑤Yサ・ユース献金優秀クラブ：
Yサ・ユース献金目標を 100%達成したクラブ

5. Y サ・ユース事業委員会

No.	氏名	所属クラブ	役職
1	清水 淳	とやま	事業主任
2	河口裕亮	彦根シャトー	直前事業主任
3	未定		次期事業主任

6. 事業主査

部	氏名	クラブ名	部	氏名	クラブ名
中部	小林滋記	名古屋南山	六甲部	井出 浩	神戸
びわこ部	富田宗宣	彦根シャトー	瀬戸山陰部	三宅 敬	姫路グローバル
京都部	宮崎順巳	京都キャピタル	西中国部	大塩隆太	岩国みなみ
阪和部	中井正博	大阪泉北	九州部	内村忠生	熊本みなみ
中西部	牟 大盛	大阪			

2022 ～ 2023 事業主任方針

地域奉仕・環境事業主任 伊藤文訓（長浜）

1. 事業主題

With コロナ時代！！
地域社会とのコミュニケーションを見つめ直し
私たちにできる社会貢献活動に取り組みましょう
『Let's make clear goals that we can do』

2. 事業方針

2020 年当初から現在まで、世状は新型コロナ感染拡大を受け、私たちワイズメンズクラブの活動も、あらゆる場面で十分な取り組みができなかったと思います。また近年は身近で起きる自然災害も、従来経験し得なかった規模で、頻繁に発生している現状です。

そうした状況下でワイズメンズクラブの一員として、“今” どのような活動・取り組みが“地域社会”・“国内・国際社会” に役立つのかを考え、各部・クラブの現状に応じた明確な方策と目標を設定していただきたいと思います。

また「Y's × SDGs Youth Action2022 アクションプラン」についても 4 月から活動期間がスタートします。ともに地域の課題解決に向け取り組んでいきたいと思います

- (1) 地域社会への貢献活動の取り組みを、今一度具体的かつ明確に計画・実行
- (2) 各部・各クラブの取組内容を積極的に発信し、情報の共有化を推進
- (3) メネットとの協調関係を深め身近でできる方策を模索
- (4) 国内における大規模災害復興支援の継続
- (5) 「Y's × SDGs Youth Action2022 アクション」への理解・認識と支援
- (6) 各種献金（CS・TOF・FFなど）・UGP（国際統一事業）の正しい理解で献金 0 クラブ「0」達成

3. 事業計画

- (1) SDGs の 17 の目標 & 169 のターゲットをヒントに、各部・各クラブが目標とする具体策を設定
「例として」

- ①勉強会の実施—SDGs 本来の認識・食品ロス解消・再生可能エネルギーに関すること etc
- ②環境保全の取り組み—プラスチックゴミを出さない運動・定期的なゴミ拾い
- ③アップサイクルへの挑戦—使わなくなった物を捨てずに新しい物に作り替え価値を高める
- ④各種献金の理解度アップと目標達成—例会開催時・ZOOM ミーティングの定期開催

- (2) 地域内各種団体（奉仕団体や NPO・行政組織 etc）との情報交換、メネットとの更なるコミュニケーション強化など、身近な人々との定期的交流で取組事例を参考にするなど、時には連携し共同施策（コラボレーション）を展開することも可。

- (3) CS 資金を積極的に活用することを推進

＜注 1：但し、非継続的な CS 事業であり、適正かつ効果的な地域貢献活動に限る＞

- (4) 各部・各クラブ活動内容を「西日本区 HP」や「事業通信」で発信・共有

＜注 2：事業概要報告は様式適宜＜写真要添付＞でよいので、積極的に投稿願います＞

(5) 各種献金の目標達成と「献金 0 クラブ」「0」の達成に向けて

- ①CS献金 1 人あたり 1500 円
- ②TOF献金 1 人あたり 1000 円
- ③FF献金 1 人あたり 500 円
- ④国際統一事業 (UGP) 1 人あたり RBM献金 500 円

※その他の詳細は理事通信などで発信

4. 西日本区大会における表彰基準

- (1) CS献金クラブベスト10 (1人あたり平均)
- (2) TOF献金クラブベスト10 (1人あたり平均)
- (3) FF献金クラブベスト10 (1人あたり平均)
- (4) RBM献金クラブベスト10 (1人あたり平均)
- (5) 4献金 (CS・TOF・FF・RBM) オール100%達成賞
- (6) 地域奉仕・環境事業で顕著な取組みをされたクラブ
最優秀クラブ・優秀クラブ (注3: 但し4献金がオール100%達成されていることが必須)

5. 地域奉仕・環境事業委員会

No.	氏名	所属クラブ	役職
1	伊藤文訓	長浜	事業主任
2	河原正浩	京都トップス	直前事業主任
3	未定		次期事業主任

6. 事業主査

部	氏 名	クラブ名	部	氏 名	クラブ名
中部	平野実郎	名古屋	六甲部	廣瀬一雄	西宮
びわこ部	田中浩文	長浜	瀬戸山陰部	前田文夫	姫路グローバル
京都部	木村拓馬	京都トゥービー	西中国部	上久保昭二	福山
阪和部	東 正美	大阪長野	九州部	大村 豊	熊本
中西部	谷 正一	大阪西			

2022～2023事業主任方針

EMC事業主任 塚本 勝己(京都ウエスト)

1. 事業主題

誘って良かったワイズ！ 入会して良かったワイズ！

2. 事業方針

- 1・2022年ワイズメンズクラブ創立100周年の年に100名の会員増強
- 2・東西交流会での25周年記念の時に新クラブ設立(同時にワイズメンズクラブ100周年となる)
- 3・各クラブの環境に沿ったEMC事業計画書の作成と実行への支援
- 4・クラブメンバー全員の満足度アップ!ワイズメンズでしか得られない得の発見を推進する!

3. 事業計画

- 1、各部でのEMCシンポジウムの実施
- 2、ワイズビジネス交流会等への支援
- 3、EMC事業計画書各クラブにて作成(昨年実施)
- 4、Webを使った例会充実度を上げる事によりクラブ内外の交流を促進
- 5、Web使用に関する勉強会の支援
- 6、沖縄部設立への支援
- 7、西日本区オリエンテーション時の統一モデルの作成(パワーポイント等)
- 8、YES献金への協力
- 9、各部のワイズ歴が浅いメンバーに対して、部長と主査と協力して交流会を実施
- 10、9月EMC協調月間として、各クラブの9月例会で、自分のクラブ&西日本区、ワイズを考える例会を持とう!
- 11、事業年間スケジュール

<前期>及び準備期間

2022年 3月次期会長主査研修会にて次期EMC事業の説明と各種フォームの配布

各部にて主査から各部へ、事業内容・スケジュールの説明

4月西日本区大会における表彰期間スタート(2023年3月末まで)

5月EMC事業計画書の作成・提出期限 5月27日(金)

7月前期半年報の提出・提出期限7月10日(日)

8月「EMC調査集計表」7月分提出・提出期限8月5日(金)

9月「強調月間EMC YES」YES献金

10月「EMC調査集計表」8・9月分提出・提出期限10月1日(土)

12月「EMC調査集計表」10・11月分提出・提出期限12月9日(金)

別途各部におけるEMCシンポジウムの開催

<後期>

2023年 1月後期半年報の提出・提出期限1月10日(火)

2月「EMC調査集計表」12・1月分提出・提出期限2月3日(金)

4月西日本区大会におけるEMC表彰申請提出

- ・提出期限4月14日(金)「EMC調査集計表」2・3月分提出
- ・提出期限3月31日(金)
- 次期の西日本区大会における表彰スタート
- 6月「EMC調査集計表」4・5月分提出・提出期限6月2日(金)
- 7月「EMC調査集計表」6月分提出・提出期限6月30日(金)

4. 西日本区大会における表彰基準

- 1・EMC事業最優秀クラブ賞(EMC事業に最も貢献したクラブ)
- 2・EMC事業優秀クラブ賞(EMC事業に貢献したクラブ)
- 3・ノンドロップクラブ賞(期間中退会者を出さなかったクラブ)
- 4・青年会員獲得クラブ賞(40歳以下の会員を獲得したクラブ)
- 5・年間出席率90%達成クラブ賞(期間中に出席率90%を達成したクラブ)
- 6・YES献金目標達成クラブ賞(期間中献金目標を達成したクラブ)
YES献金 1人あたり 500円
- 7・EMCパートナー賞(過去3名以上を入会に導いたワイズメン(自己申告))

5. EMC事業委員会

No.	氏名	所属クラブ	役職
1	塚本勝己	京都ウエスト	事業主任
2	山口雅也	京都キャピタル	直前事業主任
3	未定		次期事業主任

6. 事業主査

部	氏 名	クラブ名	部	氏 名	クラブ名
中部	服部庄三	名古屋グランパス	六甲部	上杉 徹	神戸西
びわこ部	松本太一	近江八幡	瀬戸山陰部	魚住美保	姫路グローバル
京都部	青倉国土	京都ウィング	西中国部	阿武朋子	東広島
阪和部	寺岡博也	大阪サウス	九州部	仲井裕司	熊本ジェーンズ
中西部	清水真一	大阪茨木			

参考 国際ブースター賞

会員増強の功績に対して国際協会から授与される賞。前年2月1日から当年1月31日までの1年間に、3名以上の親友会員を紹介した個人および6名以上の会員純増を果たしたクラブが表彰される。

2022 ～ 2023 事業主任方針

国際・交流事業主任 小田哲也（福岡中央）

1. 事業主題

交流し、語り合い、自分だけでできないことを見つけよう!
～ワイズの仲間とならいろんなことが実現できる!楽しい!!～
Let's find out what you can't do on your own
by interacting and talking together!

2. 事業方針

コロナ禍でもあり、自クラブの例会も開催出来ていなかったり、ましてや、他クラブとの交流などできなかったりと、なかなか困難なご時世です。しかし、そんな時だからこそ、新たな交流の仕方を見つけ、小さな世界から大きな世界へ飛び出し、狭い考え方から幅広い視野で世界を見る、柔軟な考え方をもっていきたいと考えます。そのため、クラブ、部、区、地域、国際の活動を案内し、その楽しさに触れてもらう機会を提供します。そして、多くの皆さんに参加してもらいたいと思います。

また、日本を担う若者の育成に貢献するためのファンド事業を理解してもらい、協力していただきます。そして、ユースの育成を充実させます。

3. 事業計画

①コロナ禍ではありますが、他クラブの例会、部会、区大会、アジア地域の関連行事等に積極的に参加し、交流を楽しみ、事業への理解を深める

（ア）第 3 回東西日本区交流会への参加を促す（2023 年 2 月 4 日 5 日 神戸）

（イ）第 26 回西日本区大会への参加を促す（2023 年 6 月 10 日 11 日 熊本）

（ウ）ワイズ設立 100 周年祝賀会への参加を促す（2022 年 11 月 15 日～17 日 台湾）

② IBC/DBC 新規締結及び交流を深める

・兄弟クラブのワイズ活動を理解し、社会貢献活動の協働を促す

・リモートの可能性を活かし、新たな交流の形を見つけ、広げていく

③ BF/EF の目的理解を深め、献金目標を達成する

④ STEP/iGo への関心を高め、若者の育成に貢献する

4. 西日本区大会における表彰基準

① IBC、DBC 新規締結クラブ賞（IBC、DBC を新規締結したクラブ）

② 新規交流チャレンジクラブ賞（コロナ禍で新しい交流方法を導入し、積極的に交流を図ったクラブ）

③ STEP/iGo クラブ賞（若者の海外研修機会提供に積極的に取り組まれたクラブ）

④ BF 献金 100%達成賞（BF 献金目標を 100% 達成したクラブ）

⑤ EF 献金賞（EF 献金をされたクラブ及び個人あわせて上位 10 名）

⑥ 最優秀クラブ賞（国際・交流事業において最も優秀な事業を行ったクラブ

ただし、最低限必要な申請書・報告書を提出したクラブ）

献金目標

理事ゴールと同じ

BF 献金 @1,500 円／人 2月末日払込期限
EF 献金 1口 120CHF 以上 随時受付

5. 国際・交流事業委員会

No	氏名	所属クラブ	役職
1	深谷 聡	名古屋	直前事業主任
2	小田哲也	福岡中央	事業主任
3			次期事業主任

6. 事業主査

部	氏 名	クラブ名	部	氏 名	クラブ名
中部	山田英次	名古屋東海	六甲部	田辺征一	神戸学園都市
びわこ部	東 康彦	滋賀蒲生野	瀬戸山陰部	橋崎恵子	姫路グローバル
京都部	小林郁佳	京都トップス	西中国部	田中正海	呉
阪和部	坂本 智	和歌山紀の川	九州部	布田 悟	熊本
中西部	藤好基子	大阪なかのしま			

部長・事業主査・事業主任の伝達・連携

西日本区書記 河合博之（京都トップス）

2021-2022 HANDBOOK & MEMBERSHIP ROSTER 53-54 p抜粋

第9条 理事の任務

第1項 西日本区における国際協会の代表者であり西日本区の運営責任者として一般行政および財政を掌り、執行する

第4項 西日本区の各クラブに国際・地域および区の重要事項ならびに情報を迅速確実に伝達する

第15条 部長の任務

第1項 理事の運営方針と指導のもとに、部を代表し部内外の状況を絶えず把握するとともに、部の運営責任者として一般行政および財政を掌り執行する

第2項 (B) 事業主任および他の各部と密接な連携のもとに部内各クラブに対し適切な指導と助言を与え、部の発展に努める

第16条 事業主任の任務

第1項 理事の指導のもとに各事業の活動を奨励・推進する

第2項 国際および地域のそれぞれの事業主任と緊密な連携のもとに、部長及びそれぞれの部の事業主査を通じ、各クラブの事業活動を啓発・促進する



では事業主査は???

部長の指導のもとに各事業の活動を奨励・推進する西日本区の事業主任と緊密な連携のもとに、クラブ会長及びそれぞれのクラブの事業委員長を通じ、各クラブの事業活動を啓発・促進する。

<メーリングリスト>による情報伝達

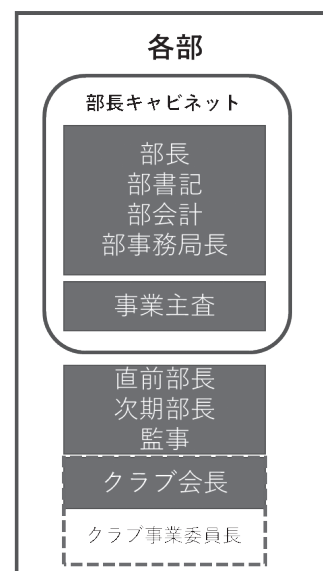
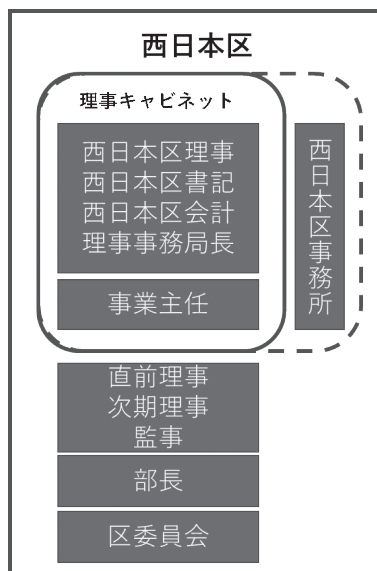
2022 年 6 月下旬から運用可能

■各部メーリングリスト

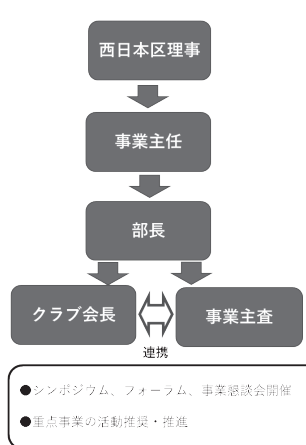
登録：部長・部書記・部会計・事務局長・部主査
主査に準ずる役職）・直前部長・次期部長
各クラブ会長（メール委員）
西日本区書記

*各部長から西日本区書記に提出された名簿をもとに登録されます

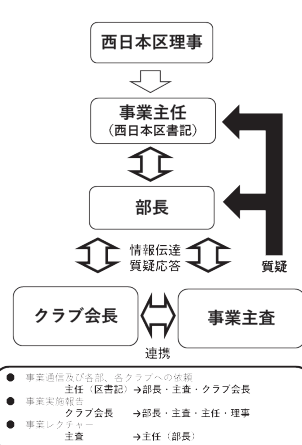
*期中にメールアドレス変更が生じた場合はメールが届きません



事業主任方針による活動の推奨・推進



事業主任の方針、手続等の伝達



事業主査の責務

次期西日本区書記 上村眞智子（熊本ジェーンズ）

◆部事業主査（DSD=District Service Director）

1. 組織上の位置づけ

SD（Service Director）は、国際、地域、区、部に置かれていますが、いずれもそのレベルの長によって指名されます。

組織図は下記の通りです。ワイズメンズクラブでは各個クラブが主権者であることから、組織図に表す場合、各個クラブを上、国際本部を下にすることがありますが、ここでは、組織上の上位、下位を理解しやすくするために、一般的な組織図にします。考え方は同じです。



2. 事業主査の役割

部事業主査は、部内の事業活動活性化とクラブ間の連絡を図るために、部長のスタッフとして、事業ごとに置かれる部役員である。各事業主査は、区事業主任と連絡を密にし、部長または事業主任に報告を送るときは、他方にもそのコピーを送るようにする。

3. 西日本区の事業主任と事業主査の関連規約

(1) 西日本区定款より

第 15 条第 4 項 A 部書記、部会計および事業主査を任命する。

第 16 条第 3 項 事業主任は、国際およびアジア・パシフィック地域のそれぞれの事業主任と緊密な連携のもとに、部長およびそれぞれの部の事業主査を通じ、各クラブの事業活動を啓発・促進する

(2) 西日本区組織の概要より

1) 基本コンセプトについて

ワイズメンズクラブは、常に躍動し、活性化し、拡張していかなければならない。ワイズメンズクラブの他の国際的な奉仕団体との大きな違いは YMCA に奉仕し、また YMCA を通じて地域社会に奉仕することを大前提としていることである。この YMCA に奉仕する力を更に大きくするには、ワイズを理解し、賛同するメンバーを増やすことが不可欠である。

この基本コンセプトを実現するには；

1. 良きリーダーをより多く育てる必要がある。役が与えられれば必然的にワイズをより一層理解でき、良きリーダーになる機会が得られる。この機会を多く作ることがリーダーをより多く育てることになる。
2. ワイズメンズクラブは人間愛に満ちた自己研鑽の場であり、メンバーの親睦を大切にし、そこから生まれたエネルギーを YMCA や地域社会に還元する。

2) 組織について

西日本区においては、5つ(※)の事業主任が置かれています。

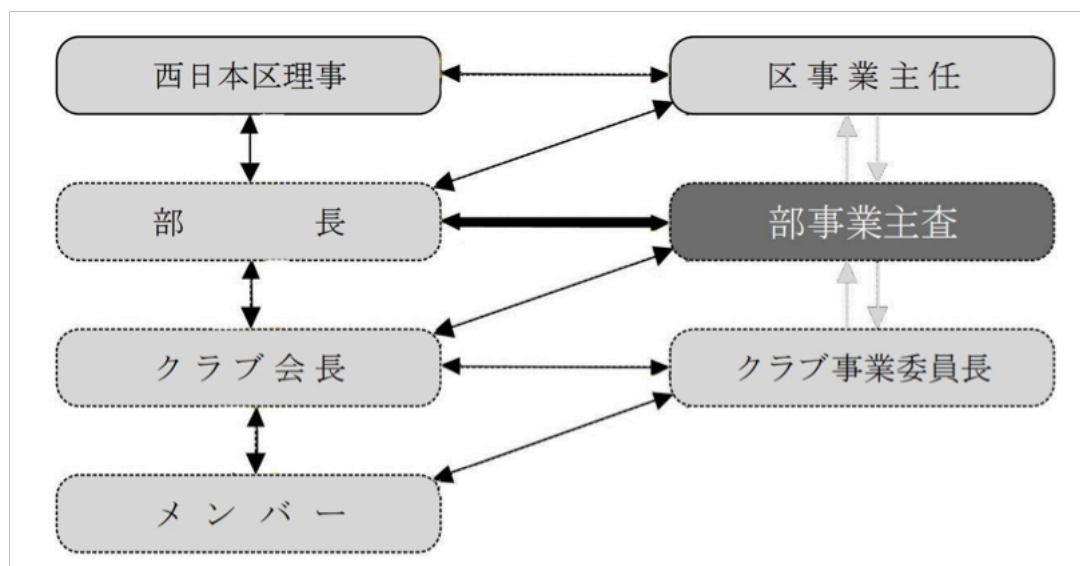
1. YMCA サービス、ユース事業主任
2. 地域奉仕・環境事業主任
3. EMC 事業主任
4. 国際・交流事業主任
5. ネット事業主任 (2022 - 23 年度より事業委員会から常置委員会へ変更)

※ 2022-23 年度より5つ→4つの事業主任へ変更

部事業主査に付いては、前述の通り部長の指名によるものですから、必ずしも5事業主査となる訳ではありません。

前述の西日本区定款 第16条3項にある様に、国際、地域、区の事業との関係で、1～5の事業に対応する事業主査と、各部の実情に合わせ必要とされる事業主査が置かれます。

部事業主査のコミュニケーション関連図



① 部事業主査は部長のスタッフですから、部長から指示や情報を得るとともに、部長に報告や提言を行います。このラインが最も大切です。

② 部事業主査は区事業主任から、助言、情報、指導を得るとともに、各クラブの事業委員長に助言、

情報、指導を与えます。部事業主査はクラブの事業委員長に、情報提供や依頼を行った場合は、必ずクラブ会長にも『写し』を送る必要があります。同様に区事業主任も部長を飛ばして事業主査に連絡・報告の必要が有る場合は、必ず部長にも連絡・報告をしなければなりません。

情報のパイプを詰まらせないことが大切です。

4. 共通する任務

1. 部の役員として

- ① ワイズメンズクラブについて、理解を深める。
- ② YMCA について、理解を深める。
- ③ 部内の各クラブについて、理解を深める。
- ④ 部内の各クラブの役員・メンバーについて、理解する。
- ⑤ 西日本区の方針を理解する。
- ⑥ 部長の方針とその背景を理解する。
- ⑦ 部会、評議会など部の行事、集会に参加する。

2. 部長のスタッフとして

- ① 部の年度目標（特に担当事業の目標）の設定について、部長に協力する。
- ② 担当事業についての国際、西日本区、部、クラブの情報を収集する。
- ③ 部内の各クラブの担当事業の活動状況と進行状況を把握する。
必要に応じて、クラブ事業委員長に報告を求めます。この場合、クラブによっては、事業委員会が機能していないことも考慮してください。
- ④ 部内の各クラブの担当事業委員長と連絡を密にする。
- ⑤ 担当事業における各クラブの成功例を集め、部内クラブおよび区事業主任を通じて他のクラブに分ち合う。
- ⑥ 部内で担当事業の PR を行う。
 - 部会、評議会の席で
 - 例会に出席して
 - 部レベルのワークショップを開催して
 - 部報、部長通信で
 - メール・HP を活用して
 - ニュースリソースを作り、クラブブリテン掲載を狙う
 - 自分の所属しているクラブのブリテンに『事業主査コーナー』を設ける
- ⑦ 時間が許すならば、部長の公式訪問や、担当する事業の強調月間に合わせて、クラブを訪問して、啓発と状況把握を行う。
- ⑧ 4 半期（9 月、12 月、3 月、6 月末）ごとに事業報告をまとめて、部長、区事業主任に報告をするとともに、活動を見直すこと。

5. 事業の継続のために

- ① 前任者から確実に文書で引き継ぎを受けること。
- ② 事業の記録をとり、後任者に確実に文書で引き継ぐこと。
- ③ 部事業主査の手引きを見直し、改定すべき点があれば、次期事業主査と部長に提言をすること。
- ④ 改革も必要です。継続も力になります。役員の任期は 1 年です。直前事業主査、次期事業主査とトロイカ方式で推進しましょう。

※資料提供 大槻信二（京都センチュリー）

クラブ会長の責務

アジア太平洋地域 EF 事業主任 森田美都子（京都パレス）

皆様へのお願い → 事前に以下の資料をお読みいただけますか！

＊西日本区ホームページ資料庫の各種マニュアル、資料内『クラブ運営マニュアル』

1、開会にあたり

挨拶・自己紹介

2、会長の責務

A) クラブ会長のポジション

B) 会長になる事前準備

Q『あなたは会長期に自クラブをどんなクラブにしたいですか?』

C) 会長期スタートからの任務

Q『例会をどんな雰囲気で行っていきたいとお考えになっていますか?』

3、締め

良きリーダー（会長）となる

会長でなければ味わえない事が満載です！

会長は大いにリーダーシップを発揮してください！

アクティブな会長は自クラブを元気にさせる

ENJOY YOUR TERM !!

キリスト教理解 「何を信じるの？」

西日本区チャプレン 立野泰博（熊本ジェーンズ）

逆説から考えてみよう「信じる」「信じない」「どちらでもない」

- ・あべこべカエル
- ・パラドックス・逆説とは何か？
- ・ウソの研究から真実が見えてくる！



神の存在証明ってできるの？

- ・神様は存在する（いる）
- ・神様は存在しない（いない）
- ・現代のキリスト者の理解は
- ・前提理論ってありなの？ 「信じるしかないじゃん」

聖書 ローマの信徒への手紙 4:5

「アブラハムは神を信じた。それが、彼の義と認められた」とあります。

そもそも信じる（信仰）って何

- ・芥川龍之介「蜘蛛の糸」からみる立場の違い
- ・親鸞・道元・ルターが地獄の血の池にいたら？
- ・それぞれの「信」がちがう

聖書 ローマ 3:22 イエス・キリスト（を）信じることにより

日本の宗教のミステリー

- ・日本教という宗教・宗派?がある
- ・日本のアレンジの宗教「無宗教」

ワイズ活動の中の宗教性

- ・キリスト者じゃないと活動できない?を越えてみたい。
- ・苦難・悲しみ・痛みに寄り添うワイズ活動で宗教性にこだわりますか？
- ・宗教の違いを超えて「公同」できるワイズメンでありたい。



日本YMCA中期計画 (2021-2023)

日本のYMCAは、2014年、ブランディングという手法を用いて選ばれるYMCAを目指し、「日本YMCA同盟中期計画 (2014-2016) YMCAブランドの再生」を策定した。2016年にはブランドコンセプトを取り決め、2017年には、「日本YMCA中期計画 (2017-2020) YMCAブランドの革新による胎動から躍進へ」に基づき、新しいロゴとスローガンを社会に向けて発信し、事業への展開、次世代のリーダー養成、マネジメント強化と組織変革、ユースエンパワーメントなど6項目にわたり進めてきた。

しかし、「みづかる。つながる。よくなっていく。」ことを決意してたゆまず進んできた私たちは、もっとも大切な人のつながりが絶たれるという未曾有の事態に直面することとなった。いま、歴史的な世界同時パンデミックによってもたらされた世界規模の危機のなかで、YMCAは存在意義の危機、存続の危機の中にいる。社会の様々な厳しい現実を目の前に、YMCAのブランディングの内実が激しく問われている。その自覚を持って「あなたは誰の隣人になっているのか」という問いに答えることがなければ、たとえ経営再建をなしたとしても、それは財政の回復であって、YMCAの再建ではない。社会の回復に仕えるYMCAの回復が、財政再建の道でもあるという確信をもって、インクルーシブな社会を実現するためにYMCAブランドを再創造していかなければならない。

まさにYMCAは闇ともいえる状況の中で、分かれ道に立ち、新しい選択をしなければならぬ。ただ、わたしたちはミッションという一つの光を持つ。その灯心を消すことなく、世の光として高く掲げていくことをあらためて意識したい。この光を灯すYMCAの「A」(アソシエーション)に人々を招き、ポジティブネットを拡張するために、日本YMCA中期計画策定委員会では、以下の5つを方針として提示する。

この中期計画の具現化に向けて、年度ごとの計画立案のため、「日本YMCA中期計画推進委員会」の発足を提案する。世界YMCA同盟が方向性として示すレジリエンス、リカバリー、リイマジネーションへも連動し、世界の潮流における日本のYMCAの姿も見出していきたいと考える。

中道基夫 (委員長)、山田公平、大森佐和、仲井間健太、田口努、横山由利亜

「光は暗闇の中で輝いている」

(ヨハネによる福音書 1章 5節)

1. Positive well-being

Positive well-being を提唱し、「みづかる。つながる。よくなっていく。」の体験提供を通して全人一貫教育の価値を最大化し、社会の健康を目指す。

2. Youth Empowerment

若い世代が夢を持ち、自己実現のために参加できる社会を創造する。YMCAは若者の信頼できるパートナーとして、時代に適応し姿を変える。

3. Technology for social inclusion & diversity

インクルーシブな社会の実現のために、あらゆる場面でテクノロジーを活用し、多様なオンラインコミュニティのプラットフォームとなる。

4. Partnership

地域社会の課題に対し、企業や行政、地域の諸団体をパートナーとし、時にかなったスピード感をもって解決に臨む。

5. Change Agent

未曾有の世界危機において、YMCAに関わる一人一人がポジティブネットの実現のために地域、世界の課題に臨み、Change Agent (Global Servant)の育成に注力する。

1. Positive well-being

Positive well-being を提唱し、「みつかる。つながる。よくなっていく。」の体験提供を通して全人一貫教育の価値を最大化し、社会の健康を目指す。



YMCA の基本理念である Spirit・Mind・Body の育成と調和に Social (社会参画：つながりの中でよりよく生きる) という視点を加え、誰もが不安と喪失を抱える時代において人間性の回復と人と人との連帯によって培われる Positive well-being を、YMCA の健康理解として提唱する。

わたしたちの健康は、「わたしがよくなる」というビジョンと経験を持つ「わたし」を起点に、家族、友人、地域、コミュニティ、国、世界と同心円的な広がりと関係性の中で育まれていく。Positive well-being は、いま改めて、障がいや年齢、性別、人種、思想などあらゆる違いに目を向け、互いに心をひらき分かち合い、助け、助けられることによって育まれていくもので、よりよく生きる希望を灯す働きとなる。これは、キリスト教に基づく人間性の回復と、ポジティブネットという連帯の形成によって人びとと社会の健康を目指すものである。

世界同時危機において、子どもとその家族、若者が孤立や分断することなく、将来に夢をもち、生きる楽しさ、喜びを感じられるよう、ライフパートナーとして一人一人に伴走する全人一貫教育 (全人的な生涯教育) に YMCA の「みつかる。つながる。よくなっていく。」体験・経験という強みを最大限に活かすことを基軸として、すべての事業・活動を再興する。

2. Youth Empowerment

若い世代が夢を持ち、自己実現のために参画できる社会を創造する。YMCA は若者の信頼できるパートナーとして、時代に適応し姿を変える。



予測のつかない羅針盤のない世界において、正義感と時代を読む感性に突き動かされ行動し、新しい未来を創造していく姿は YMCA 創設時の姿である。閉塞感のある若い世代が夢をもって、自己実現のために参画できる社会を創造できる機会を創り出していく。



また、新しいことにチャレンジしたいという若いスタッフ・リーダーが、歴史や慣習による「YMCA らしさ」や制度に縛られることなく、恐れず挑戦できる組織を作る。同時に、ユース世代の学びや生活の環境、メンタルヘルスについて注視し、支援していく。そして、YMCA は若者の信頼できるパートナーとして、時代に適応し姿を変える「適応型 YMCA (Adaptive YMCA)」となることで持続可能となる道筋を求め、健全運営・健康経営を目指して行く。

3. Technology for social inclusion & diversity

インクルーシブな社会の実現のために、あらゆる場でテクノロジーを活用し、多様なオンラインコミュニティのプラットフォームとなる。



テクノロジーの急速な拡大により、オンライン上で多様なコミュニティ(共同体)が生まれ、より手軽にグローバルな規模で、学校、職場、家庭ではない自己実現や社会参加が可能となっている。YMCA はオンラインを健全かつ建設的に活用し、生きる喜びにつながるテーマや社会課題につながるコミュニティ(共同体)創造のインクルーシブなプラットフォームとなる(ymca.positive.net 構想)。

身近な興味関心や悩みには社会を動かす多様な視点が包含され、オンラインでの伴走とオフラインでの実行力を掛け合わせたコミュニティ活動は、多様性と包摂性のある社会創造につながる。



同時に、テクノロジーを取り入れて業務の合理化・効率化を図るとともに、地域のデジタル格差による学び、健康、経済活動などの機会損失について、事業・活動のオンライン化を可能な限り進め、支援を行っていく。

4. Partnership

地域社会の課題に対し、企業や行政、地域の諸団体をパートナーとし、時にかなったスピード感をもって解決に臨む。



YMCA には地域社会の課題について、世界の持続可能な開発目標(SDGs)の健康、気候変動、平和、メンタルヘルス、ジェンダーなどの視点をもって解決できる資源が多くある。YMCA 単独ではなく、パートナーであるワイズメンズクラブ、そして目的を同じくする企業や行政、地域の諸団体と対等なパートナーシップを組み、それぞれの特性を生かして共に解決に臨んでいく。これは、関係性の中でYMCAの役割を見出し、地域・社会のレジリエンスを高めていく働きとなり、実践的なアドボカシーである。



目的が具体的に明確な社会課題解決活動、ダイナミックなパートナーシップは、理想を求める中学生・高校生など若い協力者に訴求し、テーマで協働する会員、ユースリーダーや学生YMCAの活動の展開にもつながる。YMCAの社会貢献活動の資金的裏付けも明確となり、「寄附を受ける団体」として社会的認知度も向上する。

5. Change Agent

未曾有の世界危機において、YMCAに関わる一人一人がポジティブネットの実現のために地域、世界の課題に臨み、Change Agent (Global Servant)の育成に注力する。



世界規模で社会的弱者のいのちが脅かされ、若者や高齢者、課題を抱える人たちが脆弱な立場に追い込まれている。自国の対策を優先させる中で、途上国の貧困対策、教育支援が大きく遅れている。また、世界的に民主主義の根幹が揺らぎ、一方で下からの変革を求めてゆく市民セクターの力が増している。

わたしたちのいのちが誰かのいのちや人権の犠牲の上に成り立つことがないよう、YMCAに関わる一人一人が足元のコミュニティで、そして世界で、見えないものに想像力を向け、声なき声を聴き、YMCAがポジティブネットを届けるべき先を考え、行動していかなければならない。



また、若い人が将来の世界を背負うため、グローバル社会と環境の課題を深く理解し、解決していくために必要な教育や研修、実践の機会を作り出していく。YMCAのグローバルネットワークを生かし、世界中の次世代リーダーとの協働を通して複雑な課題を解決し、地域でも、世界でも活躍できる真の Change Agent (Global Servant)の育成に注力していく。

YMCAは、これからの3カ年、世界が同時期に直面するこの危機の中で事業を展開していかなければならない。それは変化の中で「私たちはだれであるか」を再発見し続け、答えのない問いに挑戦していく旅となるであろう。YMCAのミッションとこれまでのブランディングの歩みを礎に、まっただしで社会から求められる使命によって一致し、日本YMCA中期計画を推進していきたい。

第10回日本YMCA同盟協議会承認

公益財団法人 日本YMCA同盟

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2-11

Tel 03-5367-6640 Fax 03-5367-6641

YMCAブランドの約束と実行をさらに結びつけるために

YMCAブランドの多岐にわたる活動を、4つの領域（赤枠1～4）と5つの目的（「日常の生活」ほか）で整理し、私たちの全国での活動を一貫で「見える化」しました。
とりわけ、私たちの共通の強みである「個人に寄り添う力」を、子育て・子育て支援領域から発揮するための新たな取り組みとして「YMCA伴走サポート」を推進していきます。



YMCAの全人的成長プログラム



YMCA伴走サポート

	幼児	小学生	中学生	学生	社会人
活動目的	1 子どもの成長に寄り添う 子育てと子育て支援	2 ユースエンパワーメント 若者の力を生かす			3 生活クオリティの向上 健康な生活を支える
	チャイルドケア 発達支援 / 放課後等デイサービス	アフタースクール インターナショナルスクール フリースクール・進学指導	自立・就学・就労支援 専門学校 文化教室	高齢者支援	
	幼児・小学生英語 幼児・小学生ウエルネス	英語・テクノロジーによる課題解決プログラム 中高生ウエルネス	成人英語		
	幼児・小学生野外 / キャンプ	中高生野外 / キャンプ	成人ウエルネス		
課題の解決と献身	4 社会貢献 社会貢献の地域基盤となる 地域コミュニティ活動（国内・海外）				リーダー活動・学生YMCA 会員活動・ボランティア



いまこそ、ポジティブネット

SDGs × YMCA グローバル・パートナーシップ

YMCAはポジティブネットのある豊かな社会を創造します。
持続可能な開発目標（SDGs・ディーズ）とは、2015年9月に国連サミットで採択された2030アジェンダの開発目標です。17の目標・169ターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残されない（Leave no one behind）世界の実現を誓っています。国内外で広がる貧困や格差、紛争や気候変動の問題、子どものいじめや虐待など、世界の共通課題に向けて、YMCAも国内外のグローバル・パートナーシップを活用し、若い世代が中心となって世界を変える一翼を担っています。
*後々の世界を変える：持続可能な開発のための2030アジェンダ



YMCA伴走サポート

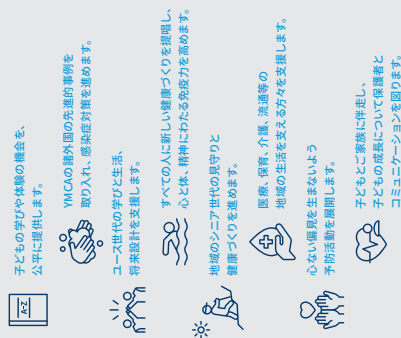


YMCA伴走サポートは、ひとりの子ども、ひとつの家庭に寄り添いながら、一貫して子育てと子育てを応援し続ける、YMCAのオリジナルプログラムです。
その子に合った成長を長い目で見守りながら、日々の体験で得られたエピソードを記録し、保護者やご家族の方への個別面談を通じて定期的にフィードバックします。個別面談の際には、YMCAが長い歴史の中で大切にしている、全一貫教育のための「成長応援指標」に基づき、その子ならではの成長や個性、良い所をお伝えしながら今後への期待などについて話し合います。
また、その時々に合った体験活動やYMCAのプログラムをご紹介することで、さらなる成長を長期にわたって誰よりも近くでサポートしていきます。

成長応援指標

A 自分をつくる	1 想像力
	2 創造力
B 他人とつながる	3 読解力
	4 基礎体力
C みんなでよくなる	5 自己規律力
	6 言語によるコミュニケーション
	7 感情によるコミュニケーション
	8 リーダーシップ / フォロワーシップ
	9 シチエンシップ
	2020年11月現在

誰もが、公正・公平に夢をかなえる チャンスのある地域社会の創造



ポジティブネットYMCA募金活動

YMCA国際協力募金
海外支援・交流、指導者養成・コース育成、啓発活動、日本で暮らす外国人サポート等に用います（年間募金約5千万円）。「子どもたちが未来を創る」をテーマに、アジアの子どもたちの教育や衛生環境の整備をはじめ、国内の多文化共生プログラム、難民支援などに注力しています。
YMCA子ども・コース・地域支援募金
コロナの影響を受ける青少年たちに学びや体験の機会の提供や、地域のシニア世代の見守りや健康づくりなど、行政・企業・諸団体と連携して進めています。
災害（地震・豪雨等）被災地支援募金
障がい児・者支援のための募金・チャリティ活動
自然エネルギー転換による募金

Vision

互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。
「ポジティブネット」 Positive Net
互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、積極的や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。
課題の多い社会のなかで、それは、生き残るためのひとつの選択手段として、私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワークを築きながら、ポジティブネットを広く広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

Value

YMCAがステークホルダーと連携する価値
したい仲間がみどり、誰かにならぬ。
私めよくなる、かけがえのない場所。
みづかる つながる よくなる
Encounter Connect Transform

Personality

ブランドとして生きていくべき個性、らしさ
心をひらき、わかちあう。
前向きで、まわりを巻きつける
魅力を持つ。
Open Asharing
Proactive & Attractive



子どもの成長に寄り添う

子育てと子育て

約300,000人

YMCAは、多様なサービスやプログラムを通して、子育て・子育ての成長に寄り添っています。保育やアフタースクールといった安心の場づくり、ウエルネスや学教育、国際交流といった出会いや成長の機会。YMCAの子育て・子育てのネットワークは全国に広がっています。

日常の生活 約14,000人

チャイルドケア(保育園・幼稚園・こども園) 全国約70拠点



子どもたちの生活の場として、ご家庭・地域との連携を大切にします。ひとりの子ども、ひとつの家庭に寄り添い、その子ならではの個性や能力とこころをご家庭と共有しながら、一貫して子育てと子育てを応援します。

学びと習得 約7,000人

インターナショナルスクール 幼児・小学生英語進学指導 文化芸術



発達段階に応じて楽しく学ぶことから始め、コミュニケーションの素地を養い、多彩に自己表現ができることをめざします。実践的な異文化理解を通して、将来にわたるグローバルな視点を養います。

身体形成 約16,000人

幼児・小学生ウエルネス(各種スポーツクラス)



幼少期の基礎的な体力づくり、スポーツ習慣は一生の財産となります。水泳、体操、サッカー、バスケットボール、ダンスなどのクラスを展開。技術の向上に加え、上達する楽しさ、チームワークの大切さを学び、心身の成長を促します。

総合的な実践 約65,000人

幼児・小学生自然体験活動

キャンプ(サマーキャンプ・ウィンターキャンプ・定例活動)



子どもたちは自然の中で五感を働かせ、特にキャンプは、小グループで生活を送ることで、異なる意見が対峙しながら協働して課題解決に臨む体験となり、今後のAI時代においてもっとも重視される人間力が磨かれます。

課題の解決と献身 約200,000人

YMCAウォーターセーフティキャンペーン

ピンクシャッター(いじめと向き合う)



国際交流
人と関わる体験を重ねることを通じて、一人ひとりのいのちを守り、違いを認め合い、他者と共に生きる力を育みます。



若者の力を信じる

ユース
エンパワメント

約90,000人

YMCAは、幅広い分野の学校や学習の場、ボランティア活動を通して、若者の成長を応援しています。夢の実現に必要な知識やスキルの習得にとどまらず、さまざまな体験や出会いの中で人間力を育んでいく。YMCAのユースエンパワメントはこれからの若者の成長を力強く支援していきます。

日常の生活 約10,000人

アフタースクール 全国約80拠点



オランダティブスクール・就労支援
学校での時間よりも長く過ごす子どもたちに、YMCAの総合力を活かした関わり、安心の場づくりを進め、高い評価を得ています。

学びと習得 約10,000人

専門学校 全国18校

人材育成(健康・福祉・医療・スポーツ・ビジネス・ホテル・観光)

日本語学校 全国16校

単位制高校

インターナショナルスクール

IB一貫教育

高校生事業



職業教育や留学、テクノロジー教育など、将来の可能性を拓く学びを提供しています。人と良い関係をつくり、考えに耳を傾け協働し、問題解決に向けて意見を伝えることをめざしています。

身体形成 約7,000人

中高生ウエルネス(各種スポーツクラス)



水泳、サッカー、バスケットボール、新体操、空手、ダンスなどを行っています。相手を尊重し、フェアプレーを実践し、楽しさを見出しながら主体的に参加することを大切にします。

総合的な実践 約60,000人

キャンプ(サマーキャンプ・ウィンターキャンプ・定例活動)

インターナショナル・キャンプ



国内外を問わず日常とは異なる環境に身を置き、小グループで自然との共存を体験します。多様なアクティビティにチャレンジし、目標達成、課題解決のために力を合わせます。

課題の解決と献身

ボランティアリーダー活動(スポーツ・キャンプ)

社会課題解決型の総合的なユースリーダー活動(国内外)

大学サークル・祭活動

ユースボランティアとして子どもたちのキャンプやスポーツのサポート、社会課題解決のためのユースリーダー活動、SDGへのグローバルな取り組みなど活発に行っています。



健やかな生活を支える

生活クオリティの向上

約25,000人

3

YMCAは、高齢化社会に対応する事業や活動にも注力しています。健康寿命の延伸や短期的好奇心の追求、社会とつながる機会を提供し、いきいきとした、健やかな生活を支えます。YMCAは、その人らしく生きることのできるQOL (Quality of Life) の向上に貢献します。

日常生活

約3,500人

高齢者ホーム

デイサービス

訪問介護・地域包括支援センター
高齢者を支えることはすべて年齢を重ねても、自分らしく生きること。一人ひとりの暮らしを支えるための原点です。一人ひとりの暮らしを支えるために、できることを見つけ、喜びを分かち合う支援を求めています。



学びと習得

約3,000人

生涯教育

文化・芸術

語学学習

歌謡・ダンス

語学学習、美術や音楽活動などを通して、世代を超えた仲間とのつながりがあります。スキルや経験を活かしたボランティア活動の機会も多く、留学生や在日外国人のサポート、子育てサポート、歌謡広場など多岐にわたります。



身体形成

約15,000人

成人ウエルネス (健康スポーツ・フィットネスクラス)

介護予防・認知症予防体操

いきいきと自立した生活をめざして「自分の健康を守る」ことのできる習慣づくりを支えます。スイミング、ジムマシンなどのほか、筋力向上にも配慮した介護予防運動指導も幅広く展開しています。



課題の解決と献身

地域コミュニケーション活動

地域コミュニティのために、一人ひとりにできることはなんでもしようか。YMCAでは、興味関心、特性に応じて参加できるボランティア活動が数多くあります。



WORLD YMCA

YMCA Global Network

世界120の国と地域に広がるYMCAネットワーク。国際連合(国連)では諮問資格を持ち、世界規模の課題解決型プロジェクトを動かし、ユース世代がリーダーシップを発揮しています。



ワイズメンズクラブ国際協会

YMCAの支店や協働を行う世界規模の専任団体で、日本でも全国141クラブがあります。

日常生活

ピンクシャツデー

いじめについて共に考え、傍観者にならないよう、学園会・YMCAの開催、子どもたちがピンクのものを身に着けるアクションなどを行っています。



ウォーターセーフティ・キャンペーン

「自分のいのちを守り、みんなのいのちを大切に」。子どもたちを水難事故から守るよう、水上安全スキルを全国の小学校で伝えています。

学びと習得

Amazon Future Engineer

「誰もがテクノロジーで世界を変えられる」をテーマに、さまざまな背景を持つ小学生～高校生を対象にプログラミング学習の機会を提供しています。



身体形成

NIKE-YMCA Play Academy for Girl's Initiative

女の子が安心・安全な環境で体を動かし、スポーツを通してリーダーシップを發揮するチャンスを提供しています。

インターナショナル・チャリティーラン

14,000人のランナーとボランティアが活躍し、給食を贈り、着るためのプログラム運営資金として用いています。

総合的な実践

公益協働事業 全国約40拠点

各自が体から指定管理・PFI事業の委託を受け、保育園、アフタースクール、コースプラザ、体育館、自然の家の運営を行い、地域の公益性を高めています。

課題の解決と献身

地球温暖化世界コース会議参加

高校生による社会課題解決アイデアソン

企業との協働プロジェクト

災害被災地支援・防災減災教育活動

各種国際協力・支援事業

協力・協働企業(一例)

amazon

Mitsubishi Corporation

Unpacked

Costco

みずほ電力

NIKE

社会貢献の地域基盤となる

社会に貢献

4

YMCAは、広く社会問題を解決するための活動に取り組んでいます。社会の課題を自分ごととして捉え解決のためのアクションに仲間。日本、そして世界に広がるネットワークと多様な活動領域を活かし、YMCAが地域の活動の基盤となっており、社会貢献の力を広げていきます。

2022-2023 年度 事務手続きについて

西日本区書記 上村眞智子
西日本区事務所 坂本 千春
中道 京子

1. 西日本区事務所

(1) 所在地および連絡先

〒532-00** 大阪市淀川区西中島***** *****

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区事務所

TEL 06-****-**** FAX 06-****-****

E-mail : ****@**-****. **, **

ホームページ [http : //www. **-****. **, **](http://www.**-****. **, **)

(2) 業務時間 月・水・金曜日 AM 11:00~PM 4:00

(3) 休日 火・**土**・日・国民の祝日・その他規定の休日（盆休・正月休）

(4) 事務所長 田上 正 *職員 坂本千春 中道京子

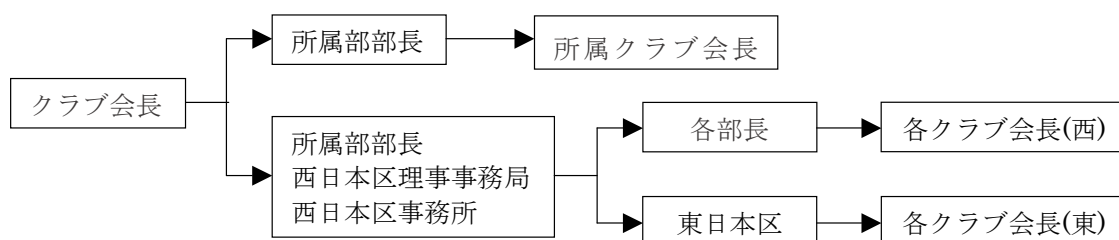
主な業務（詳細は、西日本区事務所及び理事事務局業務）

西日本区事務所は西日本区理事事務局と協力して業務を行います。

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ① 国際との窓口 | ② クラブチャーターの手続 |
| ③ 会員の異動手続 | ④ 新入会員への物品発送（バッジ、入会キットなど） |
| ⑤ 西日本区会計入出金のコンピュータ管理 | ⑥ 西日本区半年報のコンピュータ管理 |
| ⑦ 緊急連絡 | ⑧ その他 |

緊急連絡方法

会員の訃報等、部やクラブ内で発生した事案を西日本区・東日本区のメンバーに知らせる場合。



E-mail : rd22@**-****. **, ** 常任役員へリンク

rd22c@**-****. **, ** 理事・書記・会計・事務局長・事務所へリンク

rd22b@**-****. **, ** 西日本区各部部长+理事・書記・会計・事務局長へリンク

rd22s@**-****. **, ** 西日本区各事業主任+理事・書記・会計・事務局長へリンク

rd22x@**-****. **, ** 西日本区行政監事・財政監事・常置委員長・専任委員（長）+理事・書記・
会計・事務局長へリンク

※上記 E-mail アドレスは、設定後に運用可能となります。

メール委員：各クラブへの緊急連絡や区・部内の情報伝達に使用。原則としてクラブ会長とします。

中部メール委員 〈chubu@**-****, **. **〉

びわこ部メール委員 〈biwako@**-****, **. **〉

京都部メール委員 〈kyoto@**-****, **. **〉

阪和部メール委員 〈hanwa@**-****, **. **〉

中西部メール委員 〈chuseibu@**-****, **. **〉

六甲部メール委員 〈rokkou@**-****, **. **〉

瀬戸山陰部メール委員 〈setosanin@**-****, **. **〉 西中国部メール委員 〈nishichugoku@**-****, **. **〉

九州部メール委員 〈kyushu@**-****, **. **〉

※以上の E メールアドレスは、緊急連絡や区の運営に使用されます。各メールアドレスは、設定後運用可能となります。

※メール委員運用：メール委員を通じて他の部に配信する場合（ブリテン等）は理事の承認を必要とします。自部内でのメール委員を通じて配信する場合部の役員（会長、主査等）は可としますが、その他の場合は部長の判断とします。

2. 西日本区理事事務局

(1) 役割

理事事務局は、理事、書記、会計のサポートスタッフとして西日本区事務所とともに一つのチームとして西日本区活動の一端を担います。

(2) 所在地（※ 西日本区事務所とは異なり毎年変わります）

住所 〒862-09** 熊本市中央区*** 丁目**ー**

西日本区理事事務局長 佐藤通彦（熊本にし）

T E L 096-***-****

F A X 設置なし

携帯 090-***-****

E-Mail : *****@yahoo.co.jp

3. 半年報の提出

半年報（年 2 回）は、西日本区の会員現状を把握する基礎資料であり、各クラブから西日本区に納付いただく区費・負担金等の算出基準となります。

(1) 半年報用紙：前期は 6 月下旬、後期は 12 月下旬に西日本区書記名でクラブ会長宛に送られます。

(2) 提出先：各クラブ会長は半年報原本を各部の部長に提出してください。

【半年報提出期限】前期は 2022 年 7 月 10 日まで（7 月 1 日現在の人数で報告）

後期は 2023 年 1 月 10 日まで（1 月 1 日現在の人数で報告）

(3) 西日本区事務所への送付：部長は、取りまとめの上、郵送または添付メールで送付してください。

【半年報提出期限】前期は 2022 年 7 月 15 日まで

後期は 2023 年 1 月 15 日まで

※ 部長独自の集計表などではなく、クラブから提出された「原本」を区事務所へ送付して下さい。

(4) 請求書の送付：区会計名で区事務所から送ります。クラブ会長は納付期限内に速やかに納付してください。

※部長は、各クラブの半年報の提出期限厳守、内容確認などに責任を持ってご指導ください。

※各部の活動支援金は、部の全クラブからの送金が完了した時点で、区事務所から送金されます。

各部の送金先を必ず区事務所にお届けください。支援金の振り込みが遅れます。

4. 会員異動報告書の提出

(1) 新 入 会

- ① 「会員異動報告書」に記入し、FAX またはメールにて西日本区事務所へ送付。併せて、EMC 事業主任、各部部長、各部 EMC 事業主査へも控えを送ってください。
- ② お祝いとして「会員バッチ」「ランチョンバッチ（名札）」等を西日本区から贈呈します。
- ③ 西日本区事務所より上記お祝い品一式と併せて「入会請求書」が送られますので、送金方法に従って納付してください。

(2) 転 入 会

- ① 「会員異動報告書」に記入し、前述①同様の処理をしてください。
- ② 一時退会より 1 年以上経過しての再転・入会に付いては新入会扱いとなります。
- ③ 担当主事が 4 月に変わられたときも「担当主事異動報告書」に記入し同様の処理です。

(3) 退 会

「会員異動報告書」に記入し、前述①同様の処理をしてください。

* 「会員異動報告書」は、西日本区ホームページからダウンロードできます。

5. 西日本区費

西日本区費は年額 15,000 円ですが、区大会支援金が別途請求されます。区費には下記の項目が含まれています。

- (1) 国際会費（35 スイスフラン）
- (2) アジア太平洋地域会費（6 米ドル）
- (3) 西日本区運営費
- (4) 代議員会負担金（代議員旅費）
- (5) 部活動支援金
- (6) メネット事業協力金 等

6. 西日本区への送金

(1) 送金時期等

項 目	納付期限	手続きなど	備 考
前期区費 後期区費	8 月 15 日 2 月 15 日	各クラブへ請求書と「払込取扱票」が送付されます。	半年報に基づく請求です。
入会金（チャーターメンバーも同様）	請求後 1 ヶ月以内	「会員異動報告書」に基づきクラブ会長宛に請求書が送付されます。	入会金 6,500 円 チャーター5,500 円
区大会支援金		区費と共に請求	年額 500 円
Y サ・ユース支援金	3 月 15 日迄	Y サ・ユース事業主任より詳細を通知します。	目標 2,000 円

地域奉仕・環境資金 (CS) (FF 資金)	3 月 15 日迄	地域奉仕・環境事業主任より詳細を通知します。	目標 1,500 円 目標 500 円
TOF 献金	3 月 15 日迄	同上	目標 1,000 円
RBM	3 月 15 日迄	同上	目標 500 円
災害復興支援献金	随時	同上	合計 200 万円
BF (使用済み切手) BF (現金)	2 月末日迄 3 月 15 日迄	国際・交流事業主任より詳細を通知します。	切手・現金 1 人あたり 1,500 円
EF JWF	3 月 15 日迄分 随時	「EF・JWF 献金申込書」を FAX 「払込取扱票」に内容を記載し送金	一口 CHF・120 一口 5,000 円
YES	3 月 15 日迄	EMC 事業主任より詳細を通知します。	目標 500 円
募金・献金など	随時		

各クラブ会計の皆様をお願い（部長のご指導をお願いします）

①西日本区への送金は、全て所定の「払込取扱票」を使って郵便振替にて送金してください。

※「払込取扱票」がなくなった場合は、西日本区事務所にご請求ください。

②「支払人」の氏名・クラブ名・電話番号を忘れずに記入してください。

③「払込取扱票」の明細欄に送金項目・金額を必ず記入してください。

入会金、Y サ・ユース、BF 現金、CS、TOF、EF、JWF、YES、RBM 等の送金は、必ず西日本区の「払込取扱票」でお願いします。

明細・日付・クラブ名・振込人氏名もご記入ください。

※ご不明な点は、西日本区会計または西日本区事務所までお問い合わせください。

西日本区事務所及び理事事務局の業務役割

西日本区事務所	西日本区理事事務局
〒532-00** 大阪市淀川区西中島*-*-* TEL06-****-**** FAX06-****-**** E-mail : ****@**-****.*** 事務所長 田上 正 担当職員 坂本千春 中道京子	〒862-09** 熊本市中央区***-*-* TEL 096-****-****、 FAX 設置なし 携帯 090-****-**** E-Mail : *****.***@yahoo.co.jp ・理事 田上 正 ・書記 上村眞智子 ・会計 大崎隆義 ・事務局長 佐藤通彦
西日本区関係 1. 会計事務 ①区費等（前納・後納）の請求及び収納 ②入会金・加盟金の請求・受領と関係物品の発送 ③献金、その他の受領 ④経常会計経費及び特別会計の出納 ⑤毎月の経常会計及び特別会計の報告 ⑥年度会計報告書作成の補佐 ⑦国際会費他区別会計の送金 ⑧その他西日本区会計の補佐 2. 区財産の管理保管 3. 会員異動報告書の受理 4. 国際半年報の報告及び加盟に関する手続 5. 海外ワイズメンの招請手続 6. 国際、アジア太平洋地域、他区との連絡補佐 7. 西日本区役員会、代議員会等諸会議の運営補佐 8. 国際大会、アジア太平洋地域大会、西日本区大会等の運営補佐 9. 物品販売の管理の補佐 10. 西日本区発行印刷物ほか記録データの保存 ヒストリアン関係 1. 文献資料の発行・収集・管理保存 2. 重要資料の永久保存 3. 海外文献等の翻訳補佐	1. 年間方針・計画の策定、一般行政の執行、年度報告書の作成 2. 年間予算案の作成、財政の執行、年度会計報告書の作成 3. 新クラブ加盟金額の決定 4. HANDBOOK&MEMBERSHIP ROSTER の発行 5. 半年報の取りまとめ 6. 「西日本区報」の発行（区報編集委員会と共に） 7. 「理事通信」の発行 8. 経常会計、特別会計の支出通知 9. 諸文書の整備保管と後任者への引継ぎ 10. 役員会、常任役員会、代議員会の準備・招集・運営・記録 11. 国際、アジア太平洋地域、他区との連絡通信 12. 海外文献等の翻訳 13. 国際大会、アジア太平洋地域大会への参加促進 14. 西日本区大会の調整打合せ 15. 西日本区事務所の運営



2022～2023年度 半年報

2022 年 7 月 日作成

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

部 クラブ

会長

【会員数】2022年7月1日現在を基準にご記入ください

① 会 員 数	名	広義会員、功労会員及び担当主事を含む メネットは含めない
② 承認済み広義会員及 び届出済み功労会員	名	お名前
③ 担 当 主 事	いる いない	お名前
④ 特別メネット	名	
⑤ 区大会支援金の 計算根拠となる数	名	①+④

- 広義会員及び功労会員とは、理事承認済み広義会員と届出済み功労会員です。
- 特別メネットとは、メンがご逝去されてメネットとして残られる方、及びワイズメンの夫人でないメネット。(EMC データの会員数には含めません)
- この半年報は、西日本区費及び各支援金等の算出根拠となります。
- 西日本区会費納入期日 8月 15日
西日本区会計から会長宛に請求書が送られます。内容ご確認の上、期限内に専用払込取扱票にてご送金ください。

【会員移動】 前回提出半年報 (2022.01.01) 以降の異動についてご記入下さい。

種 別 (当該以外は消去)	移 動 月 日	氏 名	メネット名	備考
新入・転入・再入会・退会・転出	月 日			
新入・転入・再入会・退会・転出	月 日			
新入・転入・再入会・退会・転出	月 日			
新入・転入・再入会・退会・転出	月 日			
新入・転入・再入会・退会・転出	月 日			
新入・転入・再入会・退会・転出	月 日			
新入・転入・再入会・退会・転出	月 日			

Word で記入される場合は、必要な種別を残して他は消去してください。

転入・転出の場合は、備考欄に相手クラブ名をご記入ください。

本項記載頂いた場合も別途「会員異動報告書」の提出が必要です。

【提出期限】2022年7月10日 所属部の部長宛にメールでご提出下さい

※半年報の集計は西日本区事務所長（理事）が事務所職員と協力して集計して、速やかに西日本区のホームページにアップするものとする。併せて集計表は当期のEMC事業主任ならびに、区報編集委員会委員長に報告するものとする。

会員異動報告書

2020年12月改訂

入 会			退 会		変 更	ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区異動資料 カード No.		
新入	転入	再入	退会	転出		報告日 クラブ	(西暦) 年 月 日	部 クラブ
						会 長 名 _____ 記入者名 _____		
該当枠内に○印を記入下さい								
※入退会及び変更年月日					(西暦) 年 月 日			
転入・転出の場合 相手ク ラ ブ 名					部 クラブ			
					氏 名		生 年 月 日 (西暦)	
(ローマ字)							年 月 日	
メ ン							年 月 日	
(ローマ字)							年 月 日	
メ ネット							ク ラ ブ 名	
(ローマ字)								
スポンサー								
(フリガナ)								
住 所					〒			
英 文 住 所								
電 話					F A X			
E-mail								
勤 務 先					職 業			
勤務先住所					〒			
勤務先電話					F A X			
勤務先E-mail								
所属YMCA					所属教会			
入退会の動機								
備考 (変更内容含) (通常は会長宅へ送付)					新会員携帯電話等: 入会キット送付先 (会長自宅以外の場合): 〒			

送付先: クラブ

- ➔ ① 西日本区事務所
- ➔ ② EMC事業主任(メール 又は FAX) 主任は理事へ
- ➔ ③ EMC事業主査(メール 又は FAX)
- ➔ ④ 部 長(メール 又は FAX) 4ヶ所へご送付下さい。

<記入要領>

- ② 会員に異動があった時は、速やかに当期の担当まで送付下さい。
- ② 「会員異動報告書」が到着しますと、「入会キット」が送付されます。「入会キット」の送付先をご指定下さい。
(通常は会長のご自宅に送付されます) (「入会キット」は会長・書記がサインした「入会証」と一緒に別途持ち帰り易いケース等に入れ直してお渡し下さい。) 余裕を以て送付下さい。
- ③ 入退会及び変更年月日の記載漏れがあります。必ずご記入の上提出して下さい。
- ④ 「入退会動機」欄は分かる範囲で必ず具体的にご記入下さい。
- ⑤ 「変更」欄は記入事項の変更に用います。(住所、氏名、電話、勤務先、広義会員等会員資格など)
- ⑥ ネットから会員に変更の場合は「入会」欄に、
会員からネットへ変更の場合は「退会」欄に○を記入下さい。ただし資格はネット扱いに変更されます。
- ⑦ 担当主事の異動による交代は、別途「担当主事異動報告書」を提出して下さい。
- ⑧ 期首、期末時の日付にはご注意下さい。※その他疑問のある場合はEMC事業主査、またはEMC事業主任にお問い合わせ下さい。

広義会員承認願

2022年 月 日

2022年7月～2023年6月期

西日本区理事 _____ 様

クラブ名 : _____ クラブ

会 長 : _____

本 人 : _____

私（当クラブメンバー _____）儀、

下記理由により、西日本区定款第3条第3項に定める所の広義会員として御承認頂きたく申請申し上げます。

申請期間 2022 年 月 日～2023年 月 日の間

- ☐ ①ワイズメンズクラブのない地域へ移住したため
- ☐ ②海外へ長期転勤となったため
- ☐ ③療養が長期にわたるため
- ☐ ④上記①～③に順ずる事情があるため

（該当事由と考えられる項目の ☐ の中に、X を記入）

①②の場合の、移動先及び、戻り予定。③の場合、経過及び治癒予定他。④の場合、①～③

に順ずると思われる事情他を以下に記入。

※クラブ及び本人よりの申請が望ましいが、事情により本人よりの申請が不可の場合、クラブよりのみの申請も可。申請期間はワイズの年度をまたぐことはできません。

功 労 会 員 届

202 年 月 日

2022 年7月～2023 年6月期

西日本区理事 _____ 様

_____ ワイズメンは、永年にわたり当クラブのワイズメンズ活動に携わり
 その、功績は大であります。よって当クラブ会則の定めるところにより、功労会員の地位を贈る
 ことといたしましたので、西日本区定款第3条第4項の定めるところにより、お届け致します。

クラブ名： _____ クラブ

会 長： _____

_____ ワイズメン略歴

入会年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日	在籍年数： _____ 年 _____ ヶ月
区・部・クラブにおける歴任役職等	
特記すべき事項	

※本、功労会員の制度が、各クラブよりの届け出制であることに鑑み、クラブ会則はもとより、衆人の
 認めるメンバーであることにご留意下さい。(コピーを EMC 事業主任に送付すること) _____ 月 _____ 日

MEMO

2022 ～ 2023 部長方針・活動計画

中部部長 山内ミハル（金沢）

1. 部長主題

明るく 清く 美しく 一よき隣人として（Befriending）

2. 活動方針

2020 年に始まったコロナパンデミックが人々の生活に大きく影をおとし、不安と焦りの中にありながらもワイズメンはしたたかに 2022 年 Y's Men International 創立 100 周年と東西日本区 25 周年をむかえ、2022-2023 年には次の歴史を作るべく新しい歩みを始めようとしています。先達が残していった足跡に続けて確かな歩みを残したいものです。

ワイズ活動は自己研鑽の良き場を提供してくれます。例会内容を工夫し、メン、メネットが揃って楽しく例会に参加し、人間力を磨きつつ、YMCA の活動を活発にして、青年たちが意欲的に参加できるよう支援しましょう。

3. 活動計画

- ① EMC 事業を強力に推し進め、会員増強を図る
- ② 各クラブの周年行事、特別例会等に、各クラブができる限り参加するなどの協力をし、各地のワイズメンズクラブの知名度を上げる
- ③ 名古屋、富山の YMCA 活動をバックアップする。
- ④ 低迷している金沢 YMCA が計画的に、活発な活動ができるよう知恵と力を集めて支援する。

4. 部行事予定

- ① 中部評議会を年 3 回開催する。
- ② 部報の発行
- ③ 各クラブが行ってきた伝統行事を継続・発展させる。
- ④ 中部部会の開催
 - * 日時：2022 年 9 月 24 日（土）
 - * 場所：金沢ニューグランドホテル（金沢市南町 4-1 TEL 076-233-1311）
- ⑤ 各地の YMCA 行事を支援する。

5. その他の計画・特記事項

金沢クラブ創立 75 周年記念例会を中部部会と同時開催する。

* 日時：2022 年 9 月 24 日（土）

* 場所：金沢ニューグランドホテル（金沢市南町 4-1 TEL 076-233-1311）

6. 部役員

役職	氏名	クラブ名
部長	山内ミハル	金沢
次期部長	松本 勝	名古屋東海
直前部長	渡辺真悟	名古屋
書記	荒川恭次	名古屋グランパス
会計	伊藤仁信	金沢
事務局長	数澤輝夫	金沢
連絡主事		
監事	早川政人	名古屋グランパス
監事	山内ミハル	金沢

7. 事業主査

役職	氏名	クラブ名
Yサ・ユース	小林滋記	名古屋南山
地域奉仕・環境	平野実郎	名古屋
EMC	服部庄三	名古屋グランパス
ファンド		
国際・交流	山田英次	名古屋東海

8. クラブ会長

クラブ名	会長名
金沢	幸正一誠
名古屋	戸田真二
名古屋東海	橋爪良和
名古屋南山	荒川文門
名古屋グランパス	阿部一雄
とやま	小泉宗政

2022 ～ 2023 部長方針・活動計画

びわこ部部長 林 宏一（彦根）

1. 部長主題

親睦、自己研鑽、そして奉仕
Fellowship, self-improvement, and service

2. 活動方針

例会内容を工夫し、参加したくなる有意義なものにしよう。
各自が親睦と自己研鑽に努め、びわこ部各クラブの奉仕活動が活性化するよう、
支援と情報伝達を推進します。

3. 活動計画

- ・ YMCA サービス・ユース事業 YY フォーラムの開催
滋賀 YMCA 職員との交流、リーダー OP との絆の強化・組織化
- ・ 地域奉仕・環境事業 琵琶湖環境保全活動（ワイズデー）清掃奉仕
- ・ EMC 事業 「びわこ部ワイズ起こし活動」との連動プロジェクト
EMC フォーラム・研修
- ・ 国際・交流事業 合同新年例会の開催
- ・ ネット事業 ネットアワーの実施

4. 部行事予定

- ・ 準備役員会
- ・ 役員会・評議会 4 回
- ・ 部長公式訪問 7 月～9 月
- ・ びわこ部たより 4 回／年程度
- ・ 部会開催 * 2022 年 10 月 15 日（土）マリアージュ彦根
- ・ 滋賀 YMCA チャリティラン
- ・ 滋賀 YMCA 風の谷ワークキャンプ

5. その他の計画・特記事項

- ・ 高島クラブへの支援
- ・ Zoom 会議の浸透

6. 部役員

役職	氏名	クラブ名
部長	林 宏一	彦根
次期部長	渡壁十郎	長浜
直前部長	安田博彦	近江八幡
書記	宮本年博	彦根
会計	外海清圭	彦根
事務局長		
担当主事	久保田展史	滋賀 YMCA
代議員	安田博彦	近江八幡
代議員	林 宏一	彦根
監 事	西川裕介	彦根シャトー

7. 事業主査

役職	氏名	クラブ名
Y サ・ユース	富田宗宣	彦根シャトー
地域奉仕・環境	田中浩文	長浜
EMC	松本太一	近江八幡
交流	東 康彦	滋賀蒲生野
メネット		
200 推進チーム	井之上 温代	滋賀蒲生野
ワイズ起こし	松岡義隆	長浜
HP 情報	安田博彦	近江八幡

8. クラブ会長

クラブ名	会長名
近江八幡	藪 秀実
彦根	外海清圭
彦根シャトー	金澤芳夫
長浜	松岡義隆
滋賀蒲生野	岡村遍導
高島	

2022 ～ 2023 部長方針・活動計画

京都部部長 石倉 尚（京都キャピタル）

1. 部長主題

United by YMCA ～YMCAで、ひとつになる～

2. 活動方針

京都ワイズメンズクラブから誕生した在京18クラブは、それぞれが独自に模索し奉仕活動をしています。では、京都部としてどのような活動をすればよいのか？京都部とは、地域での結びつきだけであるのか？

入会式辞に『ワイズメンである事は、YMCAと共に働く事を意味します』とあります。毎年、各クラブはYサ事業として、京都YMCAに多くの協力をしています。わたしたちは、京都YMCAのもとで結びつきひとつとなっているのです。

『United by YMCA』～私たちはYMCAで、ひとつになる～。

今、京都YMCAは、多くの課題に直面しています。改めて私たちが京都YMCAに尽くすために、この主題を掲げ、皆さんと共に今何をすべきか、何ができるのかを考え、18クラブがひとつとなりYMCAと共に歩むことを活動方針とします。

3. 活動計画

- 1) YMCAの活動を広く世間にアピールすることで、そのYMCAと共に活動しているワイズメンズクラブも同時に知らしめることで広く、大きく広報をします。
- 2) 例会の欠席が退会へ結びつくことが多いので、例会出席率を高めることを目標とし、会員増強に繋げます。
- 3) できる限りコロナ禍による事業の中止、延期とならない方策を練り、コロナ在りきの計画を立案します。

4. 部行事予定

*2022年9月3日（土）京都部部会の開催

*事業懇談会の開催

*18クラブ部長公式訪問、ワイズデー開催、チャリティーボウリング・ゴルフの開催

*YYYフォーラムの開催

5. その他の計画・特記事項

・YMCAへの寄付を集め、寄付金額に応じて返礼品を贈ります。

たとえば、お揃いの トレーナー、ポロシャツ、Tシャツを作成し、ワイズデーやYMCAの事業にみんなで着用しアピールの一助とします。

6. 部役員

役職	氏名	クラブ名
部 長	石倉 尚	京都キャピタル
次期部長	武村松一	京都ウイング
直前部長	中村隆司	京都ウエル
書 記	田中雅博	京都キャピタル
書 記	八木悠祐	京都キャピタル
会 計	香山章治	京都キャピタル
事務局長	金原弘明	京都キャピタル
担当主事	藤尾実	京都YMCA
代議員	中村隆司	京都ウエル
代議員	石倉尚	京都キャピタル
監 事	中村隆司	京都ウエル

7. 事業主査

役職	氏名	クラブ名
Yサ・ユース	宮崎順巳	京都キャピタル
地域奉仕・環境	木村拓馬	京都トゥービー
EMC	青倉国土	京都ウイング
国際・交流	小林郁佳	京都トップス
PR 委員長	佐治幹生	京都ウエスト

8. クラブ会長

クラブ名	会長名	クラブ名	会長名
京都	合田太一	京都エイブル	山根弘丈
京都パレス	古川安雄	京都グローバル	久保田雅彦
京都ウエスト	澤田長利	京都みやび	
京都めいぷる	藤井功輔	京都トップス	田頭邦彦
京都キャピタル	倉見直樹	京都トゥービー	新谷嘉啓
京都プリンス	西村 博	京都東稜	延近昌彦
京都センチュリー	駒谷憲美	京都ウエル	奥村 治
京都ウイング	松島正雄	京都ZERO	石飛智憲
京都洛中	大本正夫	北京都フロンティア	

2022 ～ 2023 部長方針・活動計画

阪和部部長 正野忠之（大阪泉北）

1. 部長主題

10 年後の阪和部へ。つなげる。～経験を生かし、目線を活かす～

2. 活動方針

10 年前、阪和部長を経験しました。その時の標語が、「10 年後の阪和部へ。つながる。」でした。期待を込めて作った標語でしたが、阪和部はここ 10 年でクラブ数を 2 つ減らし、会員数も 100 名前後まで減少しました。部長の担い手も輪番制では行きつかなく、部の財政も厳しくなってきました。33 年続いてきた阪和部はどうなっているのか。私たちの経験だけでワイズは生き残っていけるのか。

世間では「つなぐ」「つなげる」がキーワードになっています。

世代交代。阪和部の将来構想として、ここ数年、次世代への働きかけを行ってきた結果、次々期の阪和部長は、現在 40 歳のメンバーへバトンが渡されます。探せば見つかる次世代メンバー。ワイズメンズクラブの良さを生かすために、ベテランが次世代を支えていく構図を作るための 1 年としたい。ベテランの経験を生かして、次世代の目線を活かす。次世代の人たちの目線が新しい阪和部を作り、若者が若者を呼ぶ活動を生み出し、阪和部がつながっていくことを使命に活動を行っていきます。部長として私はつなぎ役に徹します。起承転結の「承」です。

3. 活動計画

部より常に事業の情報発信を行う。事業主任と事業主査の直接的な関係を大切にして活動

1. YMCA サービス・ユース事業

- ・西日本区理事、YMCA サービス・ユース事業主任の方針を踏まえた活動の構築。
- ・大阪 YMCA、奈良 YMCA、和歌山 YMCA それぞれで YYY フォーラムを実施。
- ・3Y でユースリーダーの相互交流を企画支援し、リーダー力をサポートする。
- ・3Y のチャリティーランを支援。

2. 地域奉仕・環境事業

- ・西日本区理事、地域奉仕・環境事業主任の方針を踏まえた活動の構築。
- ・環境事業：SDGs への関心を高める。クラブごとに目標を選択し実践。

3. EMC 事業

- ・西日本区理事、EMC 事業主任の方針を踏まえた活動の構築。
- ・阪和部将来構想と絡め、次世代の交流を活発にし、若者が若者を呼ぶ構図を作る。
- ・そのための施策を各クラブへ求めていく。
- ・次世代につながる複数年計画を策定。

4. 国際・交流事業

- ・西日本区理事、国際・交流事業主任の方針を踏まえた活動の構築。
- ・オンライン DBC、IBC の積極交流、情報発信。

5. ネット事業

- ・直前部長提案のネット計画を引き継ぎ、委員会の位置付けで次期において活動できるよう構築する。

4. 部行事予定

- ・評議会 4回を大阪、奈良、和歌山の3地域で行う。
(6月和歌山、10月大阪、2月奈良、6月大阪)
- ・阪和部将来構想「焼肉の会」：支援者を得て随時開催。次世代の交流活性化。
- ・EMC シンポジウム：次世代をテーマにリモートも使い、活性化を図る。

5. その他の計画・特記事項

- ・次世代目線でワイズ活動を見直していく。将来構想→「起承転結」の「転」へ。
- ・YMCA との取り組みも次世代目線で見直す。対等な協同。
- ・5年継続事業の掘り起こし。策定。(例) こども病院支援
- ・阪和部予算の徹底見直し。
- ・部長トイカ方式の継続を維持。
- ・新設「阪和部長活動費」「阪和部長活動報告書」の試験運用。

6. 部役員

役職	名前	所属クラブ
部 長	正野忠之	大阪泉北
次期部長	内藤陽介	和歌山
直前部長	大谷 茂	和歌山紀の川
書 記	濱口洋一	和歌山
会 計	高井亮吉	奈良
事務局	出原廣太	大阪サウス
担当主事	菅 秀晃	大阪 YMCA
	村上一志	奈良 YMCA
	藤田りか	和歌山 YMCA
監 事	中井信一	奈良

7. 事業主査

役職	氏名	クラブ名
Yサ・ユース	中井正博	大阪泉北
地域奉仕・環境	東 正美	和歌山
EMC	寺岡博也	大阪サウス
国際・交流	坂本 智	和歌山紀の川
阪和部将来構想	遠藤通寛	大阪泉北
広報	横田憲子	大阪河内

8. クラブ会長

和歌山	前畑壮志
奈良	四本英夫
大阪サウス	久岡美弘
大阪河内	丸尾欽造
大阪長野	福田智也
大阪泉北	河崎洋充
和歌山紀の川	向井貞隆

2022 ～ 2023 部長方針・活動計画

中西部部長 福島眞一（大坂土佐堀）

1. 部長主題

“Let us enjoy our club life together”

「一緒にクラブ活動を楽しみましょう!」

2. 活動方針

今期は、“楽しい”とコミュニケーションをキーワードに運営していきます。

中西部でのメンバー数の減少が続いています。区・部の諸行事も中止やウェブでの開催が多くなっています。各クラブの活動の中心である例会も中止やウェブでの開催になっています。ワイズメンズクラブの良いところは、人と人との繋がりと繋がりの上に成り立つ YMCA への奉仕活動だと思います。そして、活動を通じて“楽しい!”をメンバー皆で実感することです。

中西部内・各クラブ内でのコミュニケーションがコロナの影響で希薄になってきています。今期はコミュニケーションを重視して活動していきたいと考えます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対処の仕方やつきあい方が分かってきていると思います。With/After コロナの時代は、コロナに負けずに基本に戻って、まずは人と人の繋がりを深めコミュニケーションすることが大切です。そのために、充実と弱者への支援を活動方針とします。コミュニケーションの充実、各クラブの例会の充実、プリテンの充実、部行事の充実、ウェブでは参加出来ないメンバーへの支援、クラブ以外の弱者への支援をやっていきます。

3. 活動計画

- ・SDGs を積極的に活動に取り入れ、中西部全体での取り組みにする。
- ・ゲストスピーカーバンクの復活と活用に関心を入れたい。
- ・合同例会の活用。
- ・中西部 HP の継続活性化に注力する。
- ・評議会のない月に、フリートークの会を開催する。

4. 部行事予定

- ① Y サ・ユース事業：チャリティラン、六甲 YMCA 整備事業、YYY フォーラム等。
- ② 地域奉仕・環境事業：「ワイズの森・うなぎの森」事業の継続を目指す。
各クラブの CS 事業の支援
- ③ EMC 事業：EMC シンポジウムの開催、各クラブ例会充実への支援、中西部 EMC 推進委員会への支援、関西ワイズビジネス交流会（KYB）と連携して入会見込み者の囲い込み。
- ④ 国際・交流事業：中西部各クラブ間の積極的な交流を推進。DBC 例会・IBC 例会・合同例会支援。

5. その他の計画・特記事項

・中西部からのクラブへの発信ツールである“マンスリーレター”“部報”を充実する方法をキャビネット・メンバーと考えていきたい。現在“マンスリーレター”は、各クラブの例会予定の掲載が中心になっているが、メンバーからの報告・各クラブのプリテンの転載等、読んで楽しい物に変えたいです。“部報”も同様のことを考えたいと思います。

・評議会のない月に、フリートークの会を開催しようと思います。

6. 部役員

役職	名前	所属クラブ
部 長	福島眞一	大阪土佐堀
次期部長	石津雅人	センテニアル
直前部長	牟 大盛	大阪
書 記	丹吾 礼	大阪土佐堀
会 計	岩田 晋	大阪土佐堀
事務局長	鳥居 翠	大阪なかのしま
担当主事	内山雅文	大阪 YMCA
監 事	吉田由美	大阪なかのしま

7. 事業主査

事業	名前	所属クラブ
Y サ・ユース	牟 大盛	大阪
地域奉仕・環境	谷 正一	大阪西
EMC	清水 真一	茨木
国際・交流	藤好 基子	大阪なかのしま

8. クラブ会長

クラブ名	会長名
大阪	藤岡 宏樹
大阪土佐堀	川岸 清
大阪センテニアル	芝田 光雄
大阪西	柿島 裕
大阪茨木	掛谷 太郎
大阪なかのしま	藤井 弥生

2022 ～ 2023 部長方針・活動計画

六甲部部長 若林成幸（宝塚）

1. 部長主題

With Corona の新しい日常、バトンを繋いで延ばす貢献寿命！

2. 活動方針

1. YMCA 中期計画を学び、これからの YMCA・これからのワイズを共に考える

日本 YMCA は 2016 年にブランディングを提唱し、パンデミックの危機を経て、日本 YMCA 中期計画 2021 ～ 2023 が発表した。ワイズと関係が深い Positive well-being（社会の健康を目指す）、Partnership（パートナーとともに地域社会の課題解決）の展開を見据えて YMCA とワイズの連携を深める。

2. 地域社会の課題を見出し、他の活動者に寄り添って貢献寿命を延ばす

人生 100 年時代にはいって長寿社会の課題やコロナ禍で生じた地域社会の課題に対してワイズの出番は多いはず。各クラブが持っている得意技を前面に押し出し、地域の他の活動者と協働の輪を広げると、ワイズの存在意義を実感することができる。地域奉仕は形を変えた YMCA サポートとも理解できる。

3. オンラインによるコミュニケーションを広めワイズライフの楽しさ、喜びを分かち合う

コロナ禍、新しいコミュニケーション・ツールを使った新たな交流が始まった。また、老若が一緒になってデジタル技術を学ぶ意識が高まり、多世代にわたる協力関係が育ち始めている。Zoom 利用の学習会・ハイブリッド例会、Zoom でワイン交流会、イベント動画の配信など、スマホで多様な交流を楽しむことができる。

3. 活動計画

①Yサ・ユース事業：切れ目ない YMCA 支援。ユース職員との接点を広げ YMCA と連携した取り組み

②地域奉仕・環境事業：六甲部の特色ある「キラリと輝くアート展」「宝塚市民クリスマス」の実行応援

・SDG sの理解と実践的な活動。地域の他のボランティア活動グループと協働

③ EMC 事業：オンラインを活用した例会充足率の向上。会員増強計画の推進

・EMC 振り返りシートの活用

④国際・交流事業：オンラインによる交流の活発化

⑤メネット事業：メネットプロジェクトは六甲部の地域奉仕・環境事業と協業

⑥広報事業：六甲部 HP の活用。オンラインによる発信技術の習。

4. 部行事予定

2022 年 5 月 14 日（土） 準備役員会

2022 年 7 月 9 日（土） 第 1 回評議会

2022 年 11 月 12 日（土） 六甲部部会 宝塚ホテル

2023 年 3 月 18 日（土） 第 2 回評議会

5. その他の計画・特記事項

2023 年 2 月 4～5 日 東西ワイズ交流会

6. 部役員

役職	名前	所属クラブ
部 長	若林成幸	宝塚クラブ
次期部長	井出 浩	神戸クラブ
直前部長	大野智恵	神戸ポートクラブ
書記	多胡葉子	宝塚クラブ
会計	長尾 亘	宝塚クラブ
担当主事	橋本 唯	宝塚クラブ
監事	大野智恵	神戸ポート

7. 事業主査

事業	名前	所属クラブ
Y サ・ユース	井出 浩	神戸クラブ
地域奉仕・環境	廣瀬一雄	西宮クラブ
EMC	上杉 徹	神戸西クラブ
ファンド	—	—
交流	田辺征一	学園都市クラブ
		芦屋クラブ

8. クラブ会長

クラブ名	会長名
神戸クラブ	美崎 晋
西宮クラブ	濱 浩一
神戸西クラブ	
神戸ポートクラブ	中山迅一
宝塚クラブ	小林康男
さんだクラブ	
神戸学園都市クラブ	杉本隆人
芦屋クラブ	大岩雅典

2022 ～ 2023 部長方針・活動計画

瀬戸山陰部部長 橋崎恵子（姫路グローバル）

1. 部長主題

元気なクラブになろう！ スリムで充実した部運営をめざして！

2. 活動方針

1. 部内のすべてのクラブが元気なクラブ、生き生きと活動するクラブになろう！
2. 4クラブというクラブ数の中で、4年に一度部長を輩出し、毎年主査を担当することは、大きな負担であり、クラブ疲弊にも繋がっています。元気なクラブであり続けるために部として何ができるか考えて行おう！

3. 活動計画

- ①クラブ活動を見つめ直し、継続事業をさらに充実させ自信を持って発信できる活動となるように、部内で互いに共有し、励ましあおう。
- ② 活動を地域の方に広く知って頂き知名度をあげるために、広報を積極的に活用しよう。
- ③ 部運営について、評議会で協議した主査の役割軽減改革案に基づきスリム化をしよう。
 1. 主任の方針・情報・連絡事項 → 部長から各会長へ伝達する。
 - ・主査は、部長ホストクラブのメンバーを登録
 2. 事業活動・研修会の開催 → 部長預かりとする。
 - ・部主催ではなく、クラブが自主的に開催するのを尊重し応援する。

4. 部行事予定

- ①部評議会 第1回 2022 年7月18日（月・祝）
 第2回 2023 年3月21日（火・祝）
- ②部 会 2022 年11月3日（木・祝） 9:30～16:30
 *会 場： 姫路 YMCA 太子キャンプ場（ASOBO）
 *目 的： 瀬戸山陰部の4クラブと部を元気にしよう！
☆部内4クラブのメンバー・ファミリー・ユース中心の交流
☆一日キャンプ場で思う存分楽しく交流しましょう!!

5. その他の計画・特記事項

6. 部役員

役職	名前	所属クラブ
部長	橋崎恵子	姫路グローバル
次期部長	山本和夫	姫路
直前部長	福永君二	米子
書記	三宅 敬	姫路グローバル
会計	前田文夫	姫路グローバル
事務局長	三宅 敬	姫路グローバル
担当主事	八杉光春	姫路グローバル
監事	長壽和子	岡山

7. 事業主査

事業	名前	所属クラブ
Yサ・ユース	三宅 敬	姫路グローバル
地域奉仕・環境	前田文夫	姫路グローバル
EMC	魚住美保	姫路グローバル
国際・交流	橋崎恵子	姫路グローバル
メネット		

8. クラブ会長

クラブ名	会長名
姫路	坂田悦規
岡山	河田英正
姫路グローバル	魚住美保
米子	福永君二

2022 ～ 2023 部長方針・活動計画

西中国部部長 金子敏郎（広島）

1. 部長主題

老いては子に従い、若き世代の感性で楽しもう!

2. 活動方針

奉仕の質を上げ、認知度を高め
会員の充実感の高揚と
新規の仲間の増加を目指す。

3. 活動計画

- 1) 都市美化運動（Waste4Weeks）を充実させる。
準備段階として、美化して欲しい場所を募集する。（マスコミを利用する）
例／公園、川沿い、海岸沿いなどでもかも!
希望地をワイズと YMCA 関係者と一緒に美化活動。（マスコミの記事となる）
【効果】 実際的に地域をきれいにでき、同時にワイズの名前を知らしめることができるようにする。
- 2) 部報を少なくとも2ヶ月に1回は発行。

4. 部行事予定

- 1) EMC シンポジウム
- 2) YY フォーラム開催
- 3) 西中国部会 開催
- 4) ワイズデー行事実施（都市美化運動 Waste 4 Weeks）
- 5) 新年合同例会
- 6) 会員親睦ゴルフ競技大会

5. その他の計画・特記事項

次年度の部長には、部長職は7月1日から始まっていることを伝えたい。
また、主査の引き継ぎをしっかりとっていきたい。

6. 部役員

役職	名前	所属
部長	金子敏郎	広島
次期部長	竹本豊治	呉
直前部長	高瀬稔彦	岩国みなみ
書記	今坂豊美	広島
会計	山本晶子	広島
事務局長		
連絡主事	在原 健	広島
監事	渡辺悦司	呉

7. 事業主査

事業	名前	所属クラブ
Y サ・ユース	大塩隆太	岩国みなみ
地域奉仕・環境	上久保昭二	福山
EMC	阿武朋子	東広島
国際・交流	田中正海	呉
メネット		

8. クラブ会長

クラブ名	会長名
広島	山下晴基
福山	上久保昭二
呉	伊藤 進
東広島	阿武朋子
岩国みなみ	河原善人

2022 ～ 2023 部長方針・活動計画

九州部部長 今村 格（熊本）

1. 部長主題

「熱意をもって、自クラブ活性化に貢献しよう。」

Let's contribute to activate your club with enthusiasm.

2. 活動方針

西日本区最大の課題であるEMC対策（特にドロップ防止）のためには、現有メンバーが例会やワイズの行事を楽しみにする機運を高めることが必須であると思います。ワイズ活動を楽しんでいるメンバーは周りにその活動を紹介し、その行動が周りを入会に誘うきっかけになる事が期待できます。

その為に、各クラブのワイズ活動の基本である例会の充実を期すため、各クラブのドライバーの活動・役割を見直すことを目的として「ドライバー委員会」を立ち上げ、まず各クラブの例会のあり方を再確認します。ドライバーを置いていないクラブではその機能を果たしている人に参加してもらい、九州部 17 クラブの例会の良いところ取りをしてもらい例会の充実を目指します。

あわせて、「楽しいワイズ」とするために、各クラブが実施しているウェルネス活動を紹介してもらい、これも九州部全クラブで楽しいウェルネス活動実施の参考にしましょう。

また、2022 ～ 2023 年度期は、九州部が理事輩出部となりますので、西日本区全体の活動についての参加や特に西日本区大会への協力と積極参加が求められます。幸い、区大会は期最終盤のイベントですので、評議会や部会を通して在熊クラブは勿論、九州部全クラブの支援の気運を高めるための声掛けを行います。

3. 活動計画

- ① 理事輩出の部として、西日本区大会等の区事業への積極支援・参加
- ② Y サ・ユース事業
YMCA 支援の再確認・YYY フォーラム（第 3 回評議会と併催）
チャリティーラン・各センター祭・クリスマスイベント・年末募金等への積極参加と支援
- ③ 地域奉仕・環境事業
各クラブが行っている支援活動の理念と状況を共有する
SDGs の理解と活動計画
- ④ EMC 事業
EMC シンポジウムの開催（第 1 回評議会と併催）
MC 見直して EMC 実現!!例会の進め方を部全体で協議するドライバー委員会を計画する。
ウェルネス委員会
- ⑤ 国際・交流
他クラブ例会への積極参加（対面・ZOOM）推奨による部内交流の活発化
IBC・DBC 活動再開推奨による国内・国際交流の活発化

4. 部行事予定

2022 年 7 月 2 日（土）第 1 回評議会・EMCシンポジウム

2022 年 10 月 1 日（土）九州部部会・第 2 回評議会・ドライバー委員会

2022 年 11 月・12 月 YMCA インターナショナルチャリティラン（福岡・鹿児島・熊本）

2023 年 3 月 4 日（土）第 3 回評議会・YYY フォーラム

部を挙げて支援する行事

2023 年 6 月 10 日（土）・11 日（日）西日本区大会 熊本城ホール

5. その他の計画・特記事項

ZOOM を活用した「みんなで語ろう九州部」の継続により、ワイズ理解・SDGs 理解の場を持つ。

6. 部役員

役職	名前	所属クラブ
部 長	今村 格	熊本
次期部長		
直前部長	森 律子	八代
書 記	吉本貞一郎	熊本
会 計	木山彫子	熊本
事務局長	米倉容子	熊本
担当主事	山田真二	熊本
監 事	松永英明	鹿児島

7. 事業主査

事業	名前	所属クラブ
Yサ・ユース	内村忠生	熊本みなみ
地域奉仕・環境	大村 豊	熊本
EMC	仲井裕司	熊本ジェーンズ
国際・交流	布田 悟	熊本

8. クラブ会長

クラブ名	会長名	クラブ名	会長
長崎	桑原伸良	宮崎	小笠原英男
熊本	吉岡久美	熊本ひがし	馬場淑之
北九州	曾我部久	阿蘇	藤本義隆
福岡中央	大浦敬規	熊本にし	岩本悟
熊本ジェーンズ	山田芳之	熊本ネクサス	—
八代	守田富男	熊本スピリット	上野修一
鹿児島	松永英明	熊本水前寺	山下和美
熊本むさし	来海恵子	熊本五福	岩本芳久
熊本みなみ	桑原純一郎		

	役 職 名		理事		
	フリガナ(ローマ字)		タノウエ タダシ (TANOUE TADASHI)		
	氏 名		田 上 正		
	所 属 部		九州		
	所 属 クラブ		熊本むさし		
	生年月日(西暦)		1952 年** 月** 日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		〒861-80** 熊本県熊本市北区**** *-*- *			
勤 務 先		医療法人(***** *)			
T E L		096-***-****(***** *)			
F A X		096-***-****(***** *)			
携帯電話		090-***-****			
e-mail		*****@*****.ocn.ne.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
1991	3	熊本ジェーンズクラブ入会	1991-	6	熊本 YMCA 入会
1993		大分クラブ設立準備委員長		7	北部センター運営委員
1996- '98	7	九州部 EMC 主査	1993- '07	6	常議員、この間、北部センター運営委員長
1996- '97	7	熊本ジェーンズクラブ 10 代会長			むさし台センター開設準備委員長、むさし台
1997-現在	8	熊本むさしクラブ (C メンバー)			センター運営委員長 (1995-1997)
1998	7	「この人ぞ Y's メン 賞」受賞	1996- '99	7	常議員議長、財団法人理事、学校法人理事
2000- '01	7	九州部部長	1998- '99	7	日本 YMCA 同盟委員
2004	4	西日本区クリスチャニティー(CE)特別	2002- '07	7	熊本 YMCA 常議員/財団法人・学校法人理事
-2019		委員会委員 (2013 年常置委員会) 改編)			財団法人・学校法人熊本 YMCA 理事長
		2007~2017CE 委員会委員長			
2004- '05	7	Asia EMC Service Director	2002- '05	7	日本 YMCA 同盟委員
2006- '10	7	西日本区 2000 推進委員会委員	2002- '04	7	日本 YMCA 同盟常議員
2006- '07	7	熊本むさしクラブ 10 代会長、ワイズメ	2008- '11	7	熊本 YMCA 常議員/、財団法人・学校法人理事
		ンズクラブ熊本地区連絡協議会議長	2021-	6	熊本 YMCA 常議員、評議員/財団法人理事
2007	6	西日本区最優秀クラブ賞受賞			現在:熊本 YMCA 会員, 鹿児島 YMCA 会員, 東京
	3	熊本にしクラブ設立準備委員長			YMCA 会員
2021	6	西日本区次期理事			
モットー		柔和で優しくあること	所属教会		熊本草葉町教会
特技・趣味等		ジョギング、サッカー、料理			
メネット名		田上かつみ	生年月日		1953 年** 月** 日
備 考					

次期西日本区理事

未定

	役 職 名		西日本区直前理事		
	フリガナ(ローマ字)		ARAYAMA KENJI		
	氏 名		新山兼司		
	所 属 部		京都部		
	所 属 クラブ		京都トップスクラブ		
	生年月日(西暦)		1957年**月**日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		京都市西京区*****			
勤 務 先		株式会社 ****			
T E L		075-***-****			
F A X		075-***-****			
携帯電話		090-****-****			
e-mail		*****@****.eonet.ne.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
1982	4	京都バレスクラブ入会	1982	4	京都YMCA維持会員
1983	11	京都キャピタルクラブ設立に伴い移籍	1990	4	京都YMCA正会員
1990	7	京滋部ファンド事業主査			
1994	7	京都トップスクラブキーマンメンバーとして移籍			
1996	7	会長			
2006	7	京都部次期部長			
2007	7	京都部部長			
2008	7	京都部直前部長			
2009	7	京都部監事			
2010	7	西日本区EMC事業主任			
2021	7	西日本区理事			
モットー		誠意	所属教会		
特技・趣味等		旅行・ゴルフ			
メネット名		新山圭子	生年月日		1960年**月**日
備 考					

	役 職 名		西日本区書記		
	フリガナ(ローマ字)		UEMURA MACHIKO		
	氏 名		上村真智子		
	所 属 部		九州部		
	所 属 クラブ		熊本ジェーンズクラブ		
	生年月日(西暦)		1951年**月**日		
現住所(英文)					
現 住 所					
〒860-00** 熊本市中央区****-**-**					
勤 務 先					
有限会社オフィス***** ☎ 096-***-**** FAX 096-***-****					
T E L					
自宅 096-***-****					
F A X					
自宅 096-***-****					
携帯電話					
090-****-****					
e-mail					
*****@***.odn.ne.jp、****.*****@gmail.com					
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員等)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
2004	5	熊本ジェーンズクラブ入会	1990	4	熊本 YMCA 学院非常勤講師(現在に至る)
2010		九州部交流主査	1992	5	熊本 YMCA 維持会員(現在に至る)
2011		クラブ会長	1996	6	熊本 YMCA 中央センター運営委員(～1998)
2013		西日本区交流事業主任	1988	6	熊本専門学校運営委員会委員(～2000)
2017	7	次期九州部部长	2000	6	熊本 YMCA 常議員(～2007)
2018	7	九州部部长			・専門学校運営委員会委員長(～2007)
	7	九州部新生ワイズ起こし運動委員会委員長	2007	6	熊本 YMCA 常議員(～2015)
2019	7	九州部直前部長			・専門学校運営委員会委員長(～2015)
2020	7	九州部監事	2015	6	専門学校運営委員会委員(現在に至る)
2021	7	西日本区次期書記	2019	6	学校運営委員会(名称変更)副委員長
			2021	5	熊本 YMCA 常議員 ・学校運営委員会副委員長
モットー		美しく、大胆かつ繊細に	所属教会		カトリック島崎教会
特技・趣味等		*特技:ファシリテーション、お話 *趣味:ドライブ、人間ウォッチング、旅行			
メネット名			生年月日		
備 考					

	役 職 名		西日本区会計		
	フリガナ(ローマ字)		オオサキタカヨシ(Oosaki Takayoshi)		
	氏 名		大崎 隆義		
	所 属 部		九州部		
	所属クラブ		熊本むさしクラブ		
	生年月日(西暦)		1949 年** 月** 日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		熊本市東区***** **—*			
勤 務 先		*****事務所			
T E L		096-***-****			
F A X		096-***-****			
携帯電話		090-****-****			
e-mail		*****@tkcnf.or.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
1996	9	熊本むさしクラブ入会	1996	9	熊本YMCA入会
2002	7	〃 第6代会長	2013	5	公益法人熊本YMCA監事(～2020)
2011	7	〃 第15代会長	2013	5	熊本YMCA常議員(～2020)
2012	7	クラブ会計			
2013	7	クラブファンド会計			
2014	7	クラブ会計			
2015	7	クラブファンド会計			
2016	7	クラブ会計			
2017	7	クラブファンド会計			
2018	7	クラブ会計			
2019	7	クラブファンド会計			
2020	7	クラブ会計			
モットー		すべてに感謝	所属教会		無
特技・趣味等		スポーツ観戦・歌・麻雀・将棋			
メネット名		大崎伸子	生年月日		1959 年** 月** 日
備 考					

	役 職 名		Y サ・ユース事業主任		
	フリガナ(ローマ字)		SHIMIZU ATSUSHI		
	氏 名		清水 淳		
	所 属 部		中部		
	所 属 クラブ		とやま		
	生年月日(西暦)		1961/ ** / **		
フリガナ(ローマ字)		SHIMIZU ATSUSHI			
現 住 所		〒926-01** 石川県七尾市**** **			
勤 務 先					
T E L		0767-**-****			
F A X					
携帯電話		090-****-****			
e-mail		*****@gmail.com			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
1988	9	富山クラブ入会(～1991/9)	1980	4	大阪 YMCA 予備校アベノ校入学
1994	2	富山クラブ入会(～1999/9)	1981	4	大阪南 YMCA 青少年活動リーダー(～1985/3)
2013	5	金沢クラブ入会			大阪 YMCA 協力会員(～1989/3)
2014	7	金沢クラブ会長	1985	4	金沢 YMCA 維持会員(～1988/6)
2015	7	金沢クラブ会長	1988	7	富山 YMCA 維持会員
		中部国際・交流事業主査	2011	4	富山 YMCA 常議員
2019	5	とやまクラブへチャーター移籍	2013	5	金沢 YMCA 維持会員(～2019/3)
		とやまクラブ会長	2014	4	金沢 YMCA 常議員(～2019/3)
2020	7	とやまクラブ会長	2018	12	大阪 YMCA アンバサダー
		中部 Y サ・ユース事業主査			
2021	7	とやまクラブ会長			
		中部地域奉仕・環境事業主査			
2022	7	西日本区 Y サ・ユース事業主任			
モットー		明日できることは今日するな	所属教会		
特技・趣味等		楽器演奏・スポーツ観戦			
メネット名			生年月日	1961/ ** / **	
備 考					

	役 職 名		地域奉仕・環境事業主任		
	フリガナ(ローマ字)		Ito Fuminori		
	氏 名		伊藤 文訓		
	所 属 部		びわこ部		
	所 属 クラブ		長浜クラブ		
	生年月日(西暦)		1961 年** 月** 日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		〒523-08** 滋賀県近江八幡市*** ***-**-***			
勤 務 先		株式会社 ***** ** 京滋支社			
T E L		0748-**-****			
F A X		0748-**-****			
携帯電話		090-****-****			
e-mail		*****@smile.odn.ne.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
2003	9	長浜クラブ入会	2003	7	滋賀 YMCA 維持会員入会
2007	7	広報・ブリテン委員長	2015～17	7	滋賀 YMCA チャリティラン実行委員
2009	7	クラブ会計			
2012	7	クラブ副会長			
2013	7	クラブ会長			
2014	7	クラブ書記			
2016	7	クラブ書記			
2017	7	びわこ部書記			
2018	7	西日本区財務委員			
2019	7	西日本区会計			
2020	7	西日本区財務委員、区報編集委員			
2021	7	西日本区次期地域奉仕・環境主任 区報編集委員、組織検討・安全対策委員			
モットー		Never Give Up ～諦めずに前へ～	所属教会		
特技・趣味等		FP セミナー・鉄道マニア・スポーツ観戦 など			
メネット名		伊藤 照代	生年月日	**月**日	
備 考					

	役 職 名		EMC 事業主任		
	フリガナ(ローマ字)		Tsukamoto katusmi		
	氏 名		塚本 勝己		
	所 属 部		京都部		
	所 属 クラブ		京都ウエストクラブ		
	生年月日(西暦)		1969年**月**日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所			〒606-8351 京都市左京区***** *-*		
勤 務 先			(株)*****		
T E L			075-***-****		
F A X			075-***-****		
携帯電話			080-***-****		
e-mail			*****@*****-q.co.jp		
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
2005	9	ウエストクラブ入会	2005	9	京都YMCA入会
2012	7	クラブ副会長			
2013	7	クラブ会長			
2017	7	京都部EMC主査			
2019	7	京都部書記			
モットー		やれば出来る	所属教会		
特技・趣味等					
メネット名		塚本 由美	生年月日	**月**日	
備 考					

	役 職 名		国際・交流事業主任		
	フリガナ(ローマ字)		オダ テツヤ (ODA TETSUYA)		
	氏 名		小 田 哲 也		
	所 属 部		九 州 部		
	所 属 クラブ		福岡中央クラブ		
	生年月日(西暦)		1967年**月**日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		〒812-00** 福岡市東区***** **ー*			
勤 務 先		特定非営利活動法人***** ☎092(***)****			
T E L		自宅 092-***-****			
F A X		自宅 092-***-****			
携帯電話		090-****-****			
e-mail		*****@hotmail.com			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
2005	6	入会	2004	7	福岡 YMCA サマーキャンプボランティアリーダー
2008	7	クラブ書記	2006	7～	福岡 YMCA 正会員
2009	7	クラブ会長	2007	6	財団法人福岡 YMCA 常議員(～2014年3月)
2011	7	九州部 YMCA サービス・ユース事業主査	2007	6～	学校法人福岡 YMCA 学園評議員
2012	7	クラブ会計	2010	10	第1回福岡 YMCA チャリティラン実行委員長
2017	7	九州部部長	2011	11	第2回福岡 YMCA チャリティラン実行委員長
2018	7	クラブ会長	2012	11	第3回福岡 YMCA チャリティラン実行委員長
2019	7	クラブ会長	2015	4～	福岡 YMCA 会員協議会議員
		九州部 地域奉仕事業主査	2016	11	第7回福岡 YMCA チャリティラン実行委員長
2020	7	クラブ会計			
2021	7	クラブ会計			
		アジア太平洋地域 国際 YES 委員			
モットー		いつもニコニコ元気よく！	所属教会		なし
特技・趣味等		旅行 スポーツ観戦 温泉巡り			
メネット名		小 田 知 恵 美	生年月日		**月**日
備 考					

	役 職 名		中部部長		
	フリガナ(ローマ字)		YAMAUCHI MIHARU		
	氏 名		山内 ミハル		
	所 属 部		中部		
	所 属 クラブ		金沢クラブ		
	生年月日(西暦)		1938 年** 月** 日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		〒 921-81** 金沢市** *-***-*			
勤 務 先					
T E L		自宅 076-***-****			
F A X		自宅 076-***-****			
携帯電話		090-****-****			
e-mail		*****@***.so-net.ne.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
1983	6	亡夫山内健司が金沢クラブ入会と同時に、メネットとして入会。	1950 年～		夫健司は高校生時代 HY で、大学生時代はユースリーダーとして、社会人になってからは諸活動に参加。2008 年には YMCA 同盟から、青少年奉仕賞を受賞。2013 年天に召されるまで、YMCA 理事として活動の支援。彼の死後その遺志を継いで 2013 年 4 月私が YMCA に入会、評議員を務める。
1990	7	中部メネット主査			
2014	7	中部メネット主査			
2017	7	中部部長			
2019	7	金沢クラブ会長	2013	4	
2020	7	金沢クラブ会長	2017	4	
2021	7	金沢クラブ会長	2019～ 現在	4	
モットー		第二の人生はボランティアとワイズライフを楽しむ	所属教会		日本基督教団 金沢教会
特技・趣味等		金沢こころの電話カウンセラー(45 年継続)や新老人の会(事務局長)等ボランティア活動の合間に、数独、クロスワード等パズルを楽しむ。			
メネット名			生年月日		1938 年** 月** 日
備 考					

	役 職 名		びわこ部部長		
	フリガナ(ローマ字)		ハヤシ ヒロカズ(HAYASHI HIROKAZU)		
	氏 名		林 宏一		
	所 属 部・クラブ名		彦根クラブ		
	生 年 月 日		1955 年** 月** 日		
英 住 所					
現 住 所		〒522-00** 彦根市*** ***-**			
勤 務 先		高校および短大 非常勤講師			
T E L		自宅 0749-**-****			
F A X		自宅 0749-**-****			
携 帯 電 話		090-****-****			
E - Mail		*****@***.ocn.ne.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴
1996	7	彦根クラブ入会	1996	7	滋賀 YMCA 入会
2015	7	クラブ Y サ・ユース委員長	2015～	11	滋賀 YMCA チャリティラン実行委員
2016	7	クラブ会長	2018	6	
2017	7	クラブ会長	2017～	12	滋賀 YMCA 会則検討委員
2018	7	びわこ部国際・交流事業主査	2018	3	
2019	7	西日本区理事事務局長			
モットー		心に感謝、体に温熱	所属教会		
特技・趣味等		冷水浴			
メネット名		林 和子	年月日	** 月** 日	
備 考					

	役 職 名		京都部部長		
	フリガナ(ローマ字)		ISHIKURA HISASHI		
	氏 名		石倉 尚		
	所 属 部		京都部		
	所 属 クラブ		京都キャピタルクラブ		
	生年月日(西暦)		1959. **. **		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		520-0011 大津市*** *—**—**			
勤 務 先		****株式会社			
T E L		077—***—****			
F A X		077—***—****			
携帯電話		090—****—****			
e-mail		*****@*****.co.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
1995	5	入会 (内廣健会長)	1995	5	入会
1997	7	クラブ書記 (石村吉宏会長)	2004	5	正会員
1998	7	クラブ交流事業委員長 (上野博史会長)	2005	4	国際協力専門委員会(～2010.03)
1999	7	クラブCS事業委員長 (山口弘子会長)	2008	7	国際協力専門委員会 委員長(～2010.03)
2000	7	クラブ書記 (森常夫会長)	2009	6	常議員(～2012.03)
2002	7	クラブ会長	2010	4	事業委員会(～2015.03)
2004	7	クラブYサ・ユース事業委員長 (柳慎司会長)	2010	4	サバエ専門委員会 委員長(～2019.11)
2005	7	クラブ副会長 (竹田博和会長)	2010	4	リトセン専門委員会(～2011.03)
2006	7	西日本区CS事業主任(森本榮三理事)	2011	4	代議員(現在に至る)
	7	クラブEMC事業委員長 (大門和彦会長)	2015	4	施設計画検討委員会(現在に至る)
2007	7	クラブEMC事業委員長 (山田隆之会長)	2019	4	チャリティーゴルフ実行委員会(現在に至る)
2008	7	クラブ 25 周年実行委員長(香山章治会長)	2019	11	事業委員会(現在に至る)
2010	7	第14回西日本区大会実行委員長(仁科理事)	2020	11	リトセン未来委員会(現在に至る)
2013		クラブファンド事業委員長 (金原弘明会長)			
2017		クラブEMC事業委員長 (田中升啓会長)			
2018		クラブ副会長 (吉井崇人会長)			
2021	7	クラブ副会長 (亀井久照会長)			
	7	京都部次期部長 (中村隆司部長)			
モットー		モアー(more)の精神	所属教会		
特技・趣味等		楽しくお酒をたしなむこと 楽しくゴルフ、釣りをすること			
メネット名		博子	生年月日		1962. **. **

	役 職 名	阪和部部長			
	フリガナ(ローマ字)	Shono Tadayuki			
	氏 名	正野 忠之			
	所 属 部	阪和部			
	所 属 クラブ	大阪泉北クラブ			
	生年月日(西暦)	1958年**月**日			
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		〒550-00** 大阪市西区*** *-*-*-*			
勤 務 先		株式会社 *****			
T E L		自宅 06-*****			
F A X		自宅 06-*****			
携帯電話		080-*****			
e-mail		*****@*****.odn.ne.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
2000.	1	大阪河内ワイズメンズクラブ(阪和部)入会	2000～	1	大阪 YMCA 会員
2002	7	大阪河内ワイズメンズクラブ第 28 代会長	2005		大阪東 YMCA 運営委員
2004	7	ファンド事業主査	～2013		
2007	7	EMC 事業主査	2018～		奈良 YMCA 会員
2008	7	阪和部書記	2020～		富山 YMCA 会員
2009	7	YMCA サービス・ユース事業主査			
2011	7	ワイズリーダーシップ開発委員会委員			
2012	7	阪和部部長			
2013	7	西日本区 YMCA サービス・ユース事業主任			
2015	4	大阪泉北ワイズメンズクラブ転会			
	7	西日本区書記			
2020	7	阪和部広報委員長			
2021	7	大阪泉北ワイズメンズクラブ第 39 代会長			
	7	次期阪和部部長			
モットー		全力投球	所属教会		
特技・趣味等		映画鑑賞 戦争映画(特に潜水艦映画)が好きです。			
メネット名				生年月日	
備 考		堺YMCA(大阪)のリーダーOBです。			

	役 職 名		中西部部長		
	フリガナ(ローマ字)		Fukushima Shinichi		
	氏 名		福島 眞一		
	所 属 部		中西部		
	所 属 クラブ		大阪土佐堀クラブ		
	生年月日(西暦)		1950 年** 月** 日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		〒661-0*** 尼崎市**** *ー**ー**			
勤 務 先					
T E L		06-****-****			
F A X					
携帯電話		090-****-****			
e-mail		*****@***.bai.ne.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
2013	12	大阪土佐堀クラブ入会	2015	4	大阪YMCA入会
2017	7	会長			
2018	7	地域奉仕・環境事業主査			
モットー		格好良く！	所属教会		
特技・趣味等		ゴルフ、ハーモニカ演奏			
メネット名		節子	生年月日	1954 年** 月** 日	
備 考					

	役 職 名		六甲部部長		
	フリガナ(ローマ字)		わかばやし しげゆき		
	氏 名		若 林 成 幸		
	所 属 部		六甲部		
	所 属 クラブ		宝塚クラブ		
	生年月日(西暦)		1941 年 月 日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		宝塚市 - -			
勤 務 先		無職			
T E L		0797- -			
F A X		0797- -			
携帯電話		090- -			
e-mail		@nifty.com			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
2003	1	宝塚クラブへ入会	2003	1	神戸 YMCA 維持会員
2005	7	宝塚クラブ会長	2015 頃		神戸 YMCA 監事
2016	7	宝塚クラブ会長			
2017	7	六甲部 EMC 事業主査			
2020	7	宝塚クラブ会長			
2021	7	六甲部 Y サ・ユース事業主査			
モットー		空をうつような拳闘はしない	所属教会		日本キリスト教団 甲東教会
特技・趣味等		合唱			
メネット名		若林弘子	生年月日		1942 年 月 日
備 考					

	役 職 名		瀬戸山陰部部長		
	フリガナ(ローマ字)		HASHIZAI KEIKO		
	氏 名		橋崎 恵子		
	所 属 部		瀬戸山陰部		
	所 属 クラブ		姫路グローバルクラブ		
	生年月日(西暦)		1953 年 月 日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		672-80 姫路市飾磨区			
勤 務 先		株式会社			
T E L		自宅 079- -			
F A X		自宅 079- -			
携帯電話		090- -			
e-mail		@ .co.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
1993	4	姫路グローバルクラブ入会	1978	10	姫路 YMCA 維持会員
2001	7	姫路グローバルクラブ会長			
2005	7	西日本区 EMC 事業主任			
2009	7	アジア EMC 事業主任			
2010	7	アジア EMC 事業主任			
2012	7	姫路グローバルクラブ会長			
2013	7	瀬戸山陰部会計			
2018	7	瀬戸山陰部書記			
2020	7	姫路グローバルクラブ会長			
2021	7	次期瀬戸山陰部部長			
モットー		すべてのことについて感謝しなさい	所属教会		日本キリスト教団 姫路和光教会
特技・趣味等		旅行 スポーツ			
パートナー		橋崎良治(姫路クラブ)	生年月日	1952 年 月 日	
備 考					

	役 職 名		西中国部 部長		
	フリガナ(ローマ字)		KANEKO TOSHIROU		
	氏 名		金子 敏郎		
	所 属 部		西中国部		
	所 属 クラブ		広島		
	生年月日(西暦)		1949 年 月 日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		〒730-08 広島市中区 --			
勤 務 先		株式会社			
T E L		082- --			
F A X		082- --			
携帯電話		090- --			
e-mail		@ .co.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
2013	4	広島クラブ入会	2013		広島YMCAに入会
2016	7	広島クラブ会長			
2017～	7	西中国部 EMC 主査			
2021					
2018～	6	ワイズ将来構想特別委員会 委員			
モットー		完全燃焼	所属教会		なし
特技・趣味等		仕事、ゴルフ、写真撮影、孫遊び、NPO 運営、団体データ処理、広報誌編集デザインなど			
メネット名		金子 富子	生年月日	月 日	
備 考					

	役 職 名		九州部部長		
	フリガナ(ローマ字)		Imamura Itaru		
	氏 名		今村 格		
	所 属 部		九州部		
	所 属 クラブ		熊本クラブ		
	生年月日(西暦)		1952/ /		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		〒860-00 熊本市西区 - -			
勤 務 先		株式会社			
T E L		096- -			
F A X		096- -			
携帯電話		090- -			
e-mail		@ . .or.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
1995	2	入会	1975	4	入会(英会話スクール)
1997	7	九州部会計(河野部長)	1977	3	退会
2000	7	西日本区理事事務局員(吉本理事)	1979	4	再入会(英会話スクール)
		熊本クラブ会長	1981	3	退会
2001	7	九州部地域奉仕事業主査	1995	2	再入会(熊本YMCA)
2002	12	退会			
2004	12	再入会			
2006	7	九州部書記(立山部長)			
2009	7	熊本クラブ会長			
2020	7	熊本クラブ会長			
2021	7	熊本クラブ会長 次期九州部部長			
モットー		「深い川は静かに流れる」	所属教会		
特技・趣味等		PC自作(3 台目改造中) ドライブ(目的地を定めず気の向くままに)			
メネット名		今村 伊久子	生年月日		1958/ /
備 考					

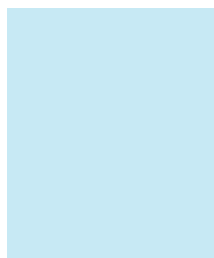
	役 職 名		財政監事		
	フリガナ(ローマ字)		Todokoro Iwao		
	氏 名		戸 所 岩 雄		
	所 属 部・クラブ名		びわこ部 彦根シャトークラブ		
	生 年 月 日		1948 年 月 日		
英 住 所					
現 住 所		〒522-0068 彦根市 - -			
勤 務 先					
T E L		0749- -			
F A X		0749- -			
携 帯 電 話		090- -			
E - Mail		@gold.ocn.ne.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴
1979	7	彦根クラブ入会	1979	7	YMCA会員登録
1982	5	彦根シャトークラブチャーターメンバー			
1984	7	クラブ副会長			
1985	7	クラブ副会長			
1997	7	クラブ会長			
1999	7	びわこ部主査			
2007	7	びわこ部部長			
2009	7	びわこ部監事	2009		25年会員継続賞
2011	7	地域奉仕・環境事業主任 CS資金援助申請審査委員(2012)			
2018	7	次期理事			
2019	7	理事			
2020	4	新型コロナ対策特別委員長			
	7	直前理事			
2021	7	行政監事			
モットー		自然にあり、大我を生きる	所属教会		
特技・趣味等		旅行、スポーツ(野球・テニス・スキー)、ボート、読書、茶道、華道			
メネット名		佐紀子	年月日	1951・ ・	
備 考		スキル・・・建物・環境・まちづくり、文化コミュニティ&地域活性化、地域資産(古民家等)の活用、			

	役 職 名		西日本区行政監事		
	フリガナ(ローマ字)		FURUTA HIROKAZU		
	氏 名		古田裕和		
	所 属 部・クラブ名		京都トゥービークラブ		
	生 年 月 日		1954 年 月 日		
英 住 所					
現 住 所		604-81 京都市中京区 —			
勤 務 先		有限会社			
T E L		075- —			
F A X		072- —			
携 帯 電 話		090- —			
E — Mail		@ .eonet.ne.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴
1995	6	京都ウイングクラブ入会	1995	6	京都 YMCA 維持会員
1997	7	京都トゥービークラブチャーター移籍	2008	10	京都 YMCA 維持会員 B
2000	7	京都トゥービークラブ会長	2009	4	京都 YMCA 国際協力奨学金選考委員
2004	7	京都部次期部長	2010	4	京都 YMCA 活動推進専門委員
2005	7	京都部部長	2013	4	京都 YMCA 活動推進専門委員会委員長
2006	7	京都部直前部長	2015	2	京都 YMCA125周年記念会員集会実行委員長
2007	7	京都部監事	2018	4	京都 YMCA 活動推進専門委員
2019	7	西日本区次期理事			
2020	7	西日本区理事			
2021	7	西日本区直前理事			
モットー		やってしまった後悔は段々小さくなる、やらなかった後悔は段々大きくなる。	所属教会		
特技・趣味等		阪神タイガース・音楽(ちょっとだけブルースハープ)・スポーツ・観劇			
メネット名		古田紀美子	年月日	1957 年 月 日	
備 考					

	役 職 名		西日本区理事事務局長		
	フリガナ(ローマ字)		SATO MICHIIHIKO		
	氏 名		佐藤 通彦		
	所 属 部		九州部		
	所 属 クラブ		熊本にしクラブ		
	生年月日(西暦)		1972 年 月 日		
フリガナ(ローマ字)					
現 住 所		862-09 熊本市中央区 - -			
勤 務 先		システム開発／ (株)			
T E L					
F A X					
携帯電話		090- -			
e-mail		@yahoo.co.jp			
西暦年	月	ワイズ歴(入会・役職・委員)	西暦年	月	YMCA歴(入会・サークル・役員等)
2000	9	熊本むさしクラブ入会	2002		ICR メンバーシップ委員就任
2003		西日本区 LD 委員	2015	6	熊本 YMCA 運営委員
2004	7	熊本むさしクラブ 8 代目会長	2017	6	熊本 YMCA 常議委員・熊本 YMCA 学院評議員
2005	7	九州部 EMC 事業主任	2017	7	熊本 YMCA みなみセンター運営委員
2009	4	熊本にしクラブへ移籍	2019	7	YMCA 熊本五福幼稚園運営委員
2016	7	岩本西日本区理事事務局員	2020	7	YMCA 熊本五福幼稚園陰影委員長
2019	7	熊本にしクラブ 11 代目会長	2021	7	リソース推進委員会委員長
2020	5	熊本にしクラブ 退会			
2021	1	熊本にしクラブ 再入会			
モットー		おもしろきことなき世をおもしろく		所属教会	
特技・趣味等		ドライブ・ツーリング			
メネット名		佐藤 香奈		生年月日	月 日
備 考					



理事
たのうえ ただし
田上 正



次期理事
未 定



直前理事
あらやま けんじ
新山 兼司



書記
うえむら まちこ
上村 眞智子



会計
おおさき たかよし
大崎 隆義



Yサ・ユース事業主任
しみず あつし
清水 淳



地域奉仕・環境事業主任
いとう ふみのり
伊藤 文訓



EMC事業主任
つかもと かつみ
塚本 勝己



国際・交流事業主任
おだ てつや
小田 哲也



中部部長
やまうち みはる
山内 ミハル



びわこ部部長
はやし ひろかず
林 宏一



京都部部長
いしくら ひさし
石倉 尚



阪和部部長
しょうの ただゆき
正野 忠之



中西部部長
ふくしま しんいち
福島 眞一



六甲部部長
わかばやし しげゆき
若林 成幸



瀬戸山陰部部長
はしぎき けいこ
橋崎 恵子



西中国部部長
かねこ としろう
金子 敏郎



九州部部長
いむら いたる
今村 格



財政監事
とどろき いわお
戸所 岩雄



行政監事
ふるた ひろかず
古田 裕和



理事事務局長
さとう みちこ
佐藤 通彦

2021 ～ 2022 年度西日本区役員一覧

2022/3/9

役職（次期）		部	クラブ	氏名	携帯	メールアドレス	〒	住所1	住所2
常任役員	西日本区理事	九州部	熊本むさし	田上 正					
常任役員	次期理事								
常任役員	直前理事	京都部	京都トップス	新山兼司					
常任役員	書記	九州部	熊本ジェーンズ	上村 眞智子					
常任役員	会計	九州部	熊本むさし	大崎 隆義					
事業主任	Y・サユース	中部	とやま	清水 淳					
事業主任	地域奉仕・環境	びわこ部	長浜	伊藤 文訓					
事業主任	EMC	京都部	京都ウェスト	塚本 勝己					
事業主任	国際・交流	九州部	福岡中央	小田 哲也					
部長	中部	中部	金沢	山内ミハル					
部長	びわこ部	びわこ部	彦根	林 宏一					
部長	京都部	京都部	京都キャピタル	石倉 尚					
部長	阪和部	阪和部	大阪泉北	正野 忠之					
部長	中西部	中西部	大阪土佐堀	福島 真一					
部長	六甲部	六甲部	宝塚	若林 成幸					
部長	瀬戸山陰部	瀬戸山陰部	姫路グローバル	橋崎 恵子					
部長	西中国部	西中国部	広島	金子 敏郎					
部長	九州部	九州部	熊本	今村 格					
監事	財政監事	びわこ部	彦根シャトー	戸所岩雄					
監事	行政監事	京都部	京都トゥービー	古田裕和					
理事事務局	事務局長	九州部	熊本にし	佐藤 通彦					
理事事務局	事務局員	九州部	熊本ジェーンズ	前田 香代子					
理事事務局	事務局員	九州部	熊本にし	町田 由美子					
理事事務局	事務局員	九州部	熊本むさし	若杉 衣子					
理事事務局	事務局員	九州部	熊本むさし	秋吉 睦					
西日本区事務所	事務所員	中西部	大阪センテニアルクラブ	坂本千春					
西日本区事務所	事務所員	六甲部	神戸	中道京子					
西日本区担当主事	西日本区担当主事		日本YMCA同盟協力主事	光永尚生					

ワイズ物品 2019



バッジ各種



スプーン・フォーク



クリアファイル



マグカップ



キャップ



ネクタイ



楯 各種



シール各種



メネットランチョン

ワイズ物品【注文シート】 2019			
品 名	価格(税別)	数 量	金 額
会員バッジ	700		
クラブ会長バッジ <銀製>	4,200		
クラブ副会長バッジ	1,500		
クラブ書記バッジ	1,500		
クラブ会計バッジ	1,500		
クラブ直前(元)会長バッジ <銀製>	4,200		
メネット会長バッジ	2,000		
メネット元会長バッジ <PAST>	2,000		
メネットバッジ	700		
メネットランチョンバッジ	500		
名刺 (用紙100枚)	700		
名刺印刷(用紙100枚込み)	2,600		
スプーン	600		
フォーク	600		
ワイズキャップ	2,000		
マグカップ (75Φ×9mm)	800		
クリアファイル (1組4枚入り)	600		
ワイズシール各種(最小200片)	300		
ネクタイ	3,000		
盾(ギャベルシールド) 30mm×21mm	15,000		
盾 角【大】 21mm×16mm	7,000		
盾 角【小】 15mm×11mm	6,000		
盾 丸 22mm×17mm	8,000		
ギャベル・盾・プレート彫刻(一文字)	20		
表彰用紙	100		
万国旗フラッグセット(海外輸入のため変動あり)	55,000		
ランチョンベル	70,000		
クラブ名：			
氏名：		T E L：	
住所：〒			

物品係～(株) 斉藤工芸 村杉克己(東京北クラブ)

F A X 03-3841-5873 T E L 03-3841-5846

e-mail:saikou@jcom.home.ne.jp

いざ立て (ワイズソング)

1. いざ立て 心あつくし
手を挙げ 誓いあらたに
われらの モットー守る
ふさわし その名ワイズメン
絶えせず めあて望み
この身を 捧げ尽くさん

2. 歌えば 心ひとつに
ともがき 広がり行きて
遠きも 近きも皆
捧げて 立つやワイズメン
栄えと 誉れ豊か
まことは 胸にあふれん

YMCA の歌

1. 若人の あつきいのりは 百年の歴史をつづる
とこしえの のぞみにもえて さかえあり
YMCA われらまた こぞりて起たん

 2. 開拓の みむねかしこみ 福音のみ旗は進む
地のはての 国々までも ひかりあり
YMCA われらまた 勇みて行かん

 3. 民族の へだてとりさり 手をつなぎ一つとなりぬ
もろともに 心合わせて みのりあり
YMCA われらまた 誓いて勝たん
-